

の推 柱進	項重 目点	名 取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度未現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果
健 や か に 過 ご せ る ま ち	健 康 寿 命 を 延 ば す た め の 健 康 づ く り を 進 め る	1 そ れ ぞ れ の 年 代 に 応 じ た 健 康 づ く り	「よこはまウォーキングポイント事業」と連動しながら、ウォーキングをはじめとした運動を日常生活の中で習慣化できる区民を増やします。 →運動やウォーキングなどの健康づくりを取り入れた生活習慣が送れる区民を増やします。	運動等を習慣化する区民を増やすための取組	【健康づくり】 ・メタボ予防講座(7/7:10人) ・栄養食生活講座(8/25:10人) ・運動・歯周病予防講座(9/28:21人) ・メタボ予防講座(10/27:8人)	区福祉保健課	健康ウォーキング事業 →健康づくり推進事業	保健活動推進委員会と連携して、地域において健康づくり活動を支援する取組を行います。	【健康づくり】 ・保健活動推進委員会と連携し、地域での健康づくりの体操教室やウォーキングなどの継続的に実施するとともに、応急措置講習会やロコモ予防等の研修会などの取組を支援していきます。 ・働き子育て世代への健康づくりや生活習慣病予防等の講座を実施します(4回)	保健活動推進員が地域等における身近で参加しやすい健康づくりの活動を地域ケアプラザなどで実施することで、生活習慣改善や運動習慣などの意識付けや啓発を行いました。また、保健活動推進員の健康づくりのための講習会や研修会を実施しました。働き子育て世代をターゲットにしたメタボ予防講座を夫婦などが参加しやすい土曜日に実施しました。
			「バランスよく食べる」「塩分少なめ」「野菜たっぷり」の食習慣づくりを目指します。	食習慣づくりの取組	【健康づくり】 ・区民のための食事相談(月2回) ・地場野菜を使った料理教室 新橋地区(9/28:22人) 上飯田地域ケアプラザ(10/30:16人) 中田コミュニティハウス(11/24:26人) 下和泉地区(2/2:31人)	区福祉保健課	食習慣の改善事業	ヘルスメイトと連携して、地域において地場野菜をつかった料理教室を開催します。	【健康づくり】 ・区民のための食事相談(月2回) ・地場野菜料理教室を食生活等改善推進委員会に運営委託し、より身近な場所での実施(4回)	食生活等改善推進員(ヘルスメイト)と連携しながら、地場野菜を使った料理教室の実施や区主催イベントを活用して、備蓄食品を使ったレシピを紹介するなど食生活の改善の啓発を行いました。
			禁煙活動を推進するとともに、子どもの喫煙防止教育を進めます。	啓発実績 喫煙防止教育への取組	【健康づくり】 ・生活習慣相談での禁煙相談(月1回) ・イベントにおける禁煙相談(6/7) ・小学校での喫煙予防教室の開催(2校) 飯田北いちょう小、上飯田小	区福祉保健課	健康横浜21推進事業	禁煙の取組の推進と受動喫煙を避ける環境づくりを進めます。	【健康づくり】 ・禁煙、受動喫煙防止を推進するため、区民ホールイベントでの禁煙相談や啓発の実施(6/6) ・小学校での喫煙・受動喫煙防止教室(2校)	世界禁煙デー・食育月間などを合わせた区民ホールでのイベント開催や飯田北いちょう小学校、上飯田小学校において喫煙防止教室を実施し、禁煙や受動喫煙防止の啓発を行いました。
			乳幼児健診時の保護者への健康づくりの啓発として、口腔ケア・ブラッシング指導、食生活相談、乳がんの自己触診方法指導などの予防啓発を進めます。	啓発実績	【健康づくり】 ・4か月健診時でのお口のセルフケア(510人) ・3歳児健診時での乳がん自己触診法等の体験及び骨密度測定の実施(1,231人) ・みんなの健康アップ！フェスティバルでの子どものフッ素塗布と歯科相談(6/7)	区福祉保健課	乳幼児健診時の保護者への健康づくり事業	4か月児健診時での保護者への口腔ケア啓発及び3歳児健診時での保護者への個別相談・乳がん・子宮がんの啓発を行います。	【健康づくり】 ・4か月健診時で来所する保護者に対して口腔ケア・ブラッシング指導の実施(月2回) ・3歳児健診時での乳がん自己触診法等の体験及び骨密度測定の実施(月2回) ・泉区歯科医師会と連携して、子どもフッ素塗布と歯科相談(1回)	乳幼児健診時の保護者等に対する健康づくりの啓発では、母親、父親などに積極的に声掛けしながら、乳がん検診の啓発や栄養相談や歯周病科予防などの取組を行い、健診に来た保護者の半数以上に実施することができました。
			がん検診や生活習慣病予防の啓発を地域の各種イベント及び区民まつりなどで実施します。	啓発実績	【健康づくり】 ・区民ふれあいまつり(11/3)、各地域のイベント等のがん検診啓発の実施 ・センターでの肺がん検診の実施(5回)	区福祉保健課	がん検診啓発事業	生活習慣病である「がん」をはじめとした生活習慣病に関する啓発を行います。	【健康づくり】 ・各地域のイベント等でのがん検診の啓発(随時) ・区民まつり等での啓発(11/3)	保健活動推進員と連携して、地域での各種イベントやお祭りなどにおいて、がん検診や生活習慣病予防の啓発と区民ふれあいまつりなどで健康づくりに関するアンケートを行い、区民に対し健康づくりの意識向上につなげました。

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果
		2 介護予 防の推 進	元気なうちから介護予防に取り組む区民を増やすため、講演会やイベントの実施等を通じた普及啓発を図ります。	講演会、介護予防教室等の参加者数	【高齢者支援担当】 ・講演会 2回 98人 ・健康教育 36回 865人 ・介護予防教室等 12回 209人	区高齢・障害支援課	地域づくり型介護予防事業	講演会や各種講座を通して、元気な高齢者から虚弱な高齢者を対象に介護予防(ロコモ・認知症)の知識普及・啓発を行います。	【高齢者支援担当】 ・認知症予防講演会、膝・腰痛予防講演会の実施。 ・各自主グループの活動支援(健康測定・健康教育等)。 ・健康フェスタへの参加(健康づくりイベント)	【高齢者支援担当】 ・認知症予防プログラム体験講座を年1回予定していたが、申込者が多く2回目を実施した(参加者計103名)。自宅でも取り組める体操等を紹介し、楽しみながら受講されており好評だった。 ・膝・腰痛予防講演会(参加者39名)及び教室(3回連続講座、参加者計83名)を開催し、施設のリハビリ職がチームで教室を運営し、効果的な講座であった。 ・自主グループに対して健康測定会や健康教育を実施し、地域の身近な場所で介護予防の知識を提供した。 ・健康づくり係主催の健康アップフェスティバルにて、リハビリテーション連絡会に協力依頼しロコモ測定会を行った(計114名)。新規参加者も多かった。
			ロコモティブシンドロームの予防を呼びかけ、その防止を実践する区民を増やします。	講座の参加者数	【高齢者支援担当】 ロコモ予防のイベント 5回 239人	区高齢・障害支援課	地域づくり型介護予防事業	講演会や各種講座を通して、元気な高齢者から虚弱な高齢者を対象に、介護予防(ロコモ・認知症)の知識普及・啓発を行います。	【高齢者支援担当】 ・ロコモ予防に関連した教室開催や自主グループに対する健康教育等の実施。	【高齢者支援担当】 ・介護予防に資する住民運営の通いの場(地域の健康教室や、高齢者サロンなど)の支援者に対し、ロコモを予防する横浜オリジナルプログラムであるハマトレ本編・体験編のDVDを説明の上配布しました。(8団体及び区内7つの包括を通じての配布:10セット×7包括)
			健康長寿を目指して、その大切さに気づき、健康づくりを実践するための講座の実施や、グループ活動への支援を行います。	グループの立ち上げ支援 グループ活動の取組事例	【高齢者支援担当】 ・継続 9カ所 4,154人参加 ・H30年度新規 3カ所(いずみ中央) 元気づくりステーション「よくばりクラブ」毎月3回スクエアステップ・筋トレを中心として、健康測定会、ロコモ予防講座、座式太極拳等様々なメニューに取組むことが出来ました。 (下和泉) ・元気づくりステーション「下和泉麻雀クラブ」10回 延べ参加人数380名 ・元気づくりステーション「歌ごえサポーターズ」11回 延べ参加人数169名 ・下和泉健康づくり教室7回 延べ参加人数183名 ・しもずく健康づくり講座10回 延べ参加人数179名 (上飯田) 継続支援3カ所、運営相談やプログラムメニュー等を通して活動を支援。 健好クラブ 48回 628人 スマイル 24回 172人 麦の会 24回 570人 (新橋) ・健康畑ひまわり5回・104人 ・ふまねっとサークル3回・60人 【いずみ野】 「おはなしぼけっと」が月に2回活動を行いました。	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	元気づくりステーション事業	介護予防の必要性と具体的な取組内容について啓発を行う。グループ活動を通し、高齢者が地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送れることを目指します。	【高齢者支援担当】 ・継続12カ所の支援 ・H31年度新規立ち上げ1カ所予定(岡津地域ケアプラザ新設に伴い) (いずみ中央) 元気づくりステーション「よくばりクラブ」を高齡生涯支援課と協力しながら、自主活動が継続出来るように後方支援を行う。 (上飯田) ・ケアプラザから遠い地域に、身近な場所で運動の機会が持てるように既存の教室支援を通じて、または介護予防講座を開催等を通じてサークルを立ち上げ支援していく。 ・近隣住民の集える場所として上飯田西公園集会所を利用したサロンの実施に向けてボランティアとも相談しながら進めていく。 (新橋) 既存の2グループが円滑に活動を継続できるように引き続き後方支援します (下和泉) 元気づくりステーション「歌ごえサポーターズ」「健康麻雀クラブ」の会場貸出し、運営に関する助言・協力を行います。歌ごえサポーターズについては、H31年度もサポーターとともに、ケアプラザで「うた声喫茶」を開催したり、サロンに出張して歌を通して介護予防や交流を広げていきます。	【高齢者支援担当】 ・元気づくりステーション継続12カ所の活動支援及び、新規立ち上げ相談2件を行いました。 ・元気づくりステーション代表者宛に事故防止等安全な運営に関する情報提供を行いました。 ・元気づくりステーションの活動を紹介するMAPの作成、区役所でパネルの常設展示を行いました。 ・元気づくりステーション連絡会開催に向けた調整(2月実施は中止)を行いました。 (新橋CP) 活動に参加しグループの活動が円滑に実施できるよう、参加者だけでなく担い手の相談・助言を含む後方支援を行いました。健康畑ひまわり11回 延べ参加人数189名 ふまねっと14回 延べ参加人数253名 (いずみ野CP) 元気づくりステーション「おはなしぼけっと」月に2回活動しています。月に1回は練習と月に1回は午前中に保育園(4歳児と5歳児)で絵本の読み聞かせ、午後はグループホームやまもと特別養護老人ホーム白寿荘で絵本や紙芝居の読み聞かせを行っていました。 (いずみ中央) 元気づくりステーション「よくばりクラブ」を高齡・障害支援課と協力しながら、自主活動が継続出来るように後方支援を実施した。今年度もロコモ予防講座や座式太極拳等を取り入れて活発に活動を実施出来た。 (下和泉) 元気づくりステーション「しもずく歌ごえサポーターズ」「健康麻雀クラブ」運営助言・後方支援を行いました。 (上飯田) 健好クラブ・スマイル・麦の会の元気づくりステーションについて、運営相談やプログラムメニュー等活動を支援した。 西公園集会所での講座終了後は運動を継続していけるように既存の元気づくりステーションを紹介した。 (踊場) 担当エリアの元気づくりステーションが継続開催できるよう区役所と情報共有をしました。

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果
1	健康 寿命を延ばすための健康づくりを進める	3 認知症の予防・早期発見	認知症の正しい理解、予防のための生活習慣についての啓発を進めていきます。	講演会の実施、参加者数	【高齢者支援担当】 認知症サポーター養成講座2回 89名	区高齢・障害支援課	認知症啓発講演会	認知症についての正しい理解を図り、予防の大切さと、地域の支え合いの気持ちを醸成します。	【高齢者支援担当】 昨年に引き続き、認知症サポーター養成講座を年2回開催する予定。講座を受講後、希望者には認知症グループホームの見学やボランティアにつながるよう調整していく。	【高齢者支援担当】 認知症普及啓発講演会を3月に予定していましたが、感染症防止のため中止となりました。 ・認知症サポーター養成講座(併せて認知症グループホームの見学)を企画・実施しました。 参加者には大変好評ではありましたが、申込者が少なく(計16名)、今後の講座の工夫が必要です。
			認知症の理解、予防の普及啓発活動を支援します。	活動支援のための取組 脳若返り隊員数	【高齢者支援担当】 ・ボランティア育成等のための研修 7回・ 161人 ・地域組織の育成・支援 25回・ 258人 (いずみ中央) ・サポーター養成講座 16回・計912名 ・サポータースキルアップ講座 1回・計51名 (下和泉) 認知症カフェ「ぼかぼかサロン」12回 延べ参加人数350名 ・認知症サポーター養成講座6回 延べ参加人数256名 ・下和泉エリアキャラバンメイトメイト連絡会5回 (上飯田) ・サロンのボランティアや担い手のスキルアップ研修および連絡会の実施 2回 31名 ・脳いきいき教室の活動支援 5か所 (新橋) ・認知症サポーター養成講座3回146名 ・認知症キャラバンメイト連絡会3回 (踊場) 中田地区社協との共催で認知症サポーター養成講座を開催。ふまねっと運動の活動支援。 (いずみ野) ・認知症サポーター養成講座 8回 ・サポーターのフォローアップ研修 2回 ・認知症カフェ デ・アイ 月1回	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	地域づくり型介護予防事業 認知症支援事業	脳と体の若返り教室、認知症予防講演会を実施します。	【高齢者支援担当】 ・各地域包括支援センターで実施する人材育成の協力。 ・男性向け 介護予防人材育成講座の実施。 ・各地域組織の育成・支援。 (いずみ中央) エリア内の障害者を対象とした作業所を運営する社会福祉法人を対象にした認知症サポーター養成講座を実施予定。認知症サポーター養成講座を受講した方のスキルアップに向けた取組みや、講座受講後の活動について提案してまいります。 (いずみ野) ・認知症サポーター養成講座を年3回以上実施し、キャラバンメイトの後方支援を行います。 ・サポーターになられた方のステップアップ講座を2回開催します。 ・月1回開催する認知症カフェ デ・アイの支援を行います。 (下和泉) 認知症サポーター養成講座は下和泉地区のメイトと企画段階から連携し、地域向け(5月)、小学校(6月・10月)、元気づくりステーション(8月)、自治会(11月)、老健施設(11月)にて開催しています。認知カフェ「ぼかぼかサロン」は、地域活動者協力し、定例で毎月第1水曜日に年12回実施しています。 (上飯田) ・認知症に関する講演会開催予定 ・脳いきいき教室の運営・活動支援 ・サロンの担い手に対するスキルアップ講座・連絡会の実施 (踊場) 認知症サポーター養成講座を開催し、認知症への正しい理解と早期発見ができるように支援します。 (新橋)エリアのキャラバンメイト連絡会の開催 年3回	【高齢者支援担当】 認知症予防プログラム体験講座を5月、11月に開催。合計103名の参加があり、自宅でもできる内容でわかりやすく好評であった。 (新橋)エリアのキャラバンメイト連絡会 3回実施。 認知症サポーター養成講座 4回 158名。 ・かよう教室や健康倶楽部にて認知症予防のレクリエーション、脳活性化の工作を開催。 ・地域のサロンにて「認知症予防」や「認知症とは何？」等の講座の実施。 ・泉区社協の依頼により、泉区社協主催の認知症サポーター養成講座とともに高齢者の理解講座を実施。 (いずみ野) ・ケアプラザ、自治会、横浜銀行、シニアクラブ連合で認知症サポーター養成講座を実施しました。(5回) ・オレンジリングを持っている人向けにサポーターステップアップ講座を2回連続講座を実施しました。 ・スリーAを普及するための講座を白寿荘にて実施(4回) ・はつらつスリーA教室を実施し(6回)、10月以降は自主化への話し合いを2回持った。 (いずみ中央) エリア内の障害者を対象とした作業所や金融機関を対象にした認知症サポーター養成講座を実施した。認知症サポーター養成講座を受講した方のスキルアップに向けた講座を開催予定であったが、コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。 (下和泉) 認知症カフェ「ぼかぼかサロン」11回(3月は新型コロナウィルス対策のため中止) 延べ参加人数366名。下和泉地区社協はじめ、毎回の企画は地域住民によるボランティアと共に実施しました。 (上飯田) ・脳いきいき教室の活動支援を行った。5か所(中屋敷・南町・ひなた山・上飯田団地・いちよう団地) ・教室の担い手やボランティアに対してスキルアップ研修を実施した。 (踊場) 認知症サポーター養成講座を開催し、グループホームの見学を行い、認知症の方の生活の様子も実際見てもらった。
			認知症の早期対応のため、専門医等による相談対応を行います。	相談件数	【高齢者支援担当】 12回・相談件数12件 (いずみ中央)130件 (下和泉)486件 (上飯田)122件 (新橋)17人 (踊場)相談件数 80件 (いずみ野)相談件数100件	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	物忘れ相談	精神科医師による認知症等に関する相談を行い、早期発見・治療につなげます。	【高齢者支援担当】 福祉保健センターにおける高齢者の精神保健福祉業務の一環として、外部の精神医学専門医である嘸託医に認知症高齢者等の相談に応じてもらい、認知症の理解促進や対応等の指導助言を得、住み慣れた地域で生活が出来るよう支援しています。年12回開催します。広聴等を通じて区民の方に周知します。 必要時、認知症初期集中支援チームの活用も検討します。 (いずみ中央) 相談時専門家に届けられるように情報提供を行なっていきます。 (いずみ野) 総合相談や地域住民に対して認知症の早期発見・治療の必要性を周知します。また、必要に応じて認知症初期支援チームや医療機関につなげます。 (上飯田) 総合相談より必要に応じて早期発見、また早期受診に繋がれるように物忘れ相談の情報提供を行いながら支援をしていきます。 (新橋) 総合相談から必要に応じて早期に専門医につなげていけるよう情報提供します。 (踊場) 総合相談より早期発見につながるよう、必要に応じて、「物忘れ相談」に関する情報提供を行います。 (下和泉) ケアマネジャーや地域住民に対し、認知症初期集中支援チームの周知を図っていきます。	【高齢者支援担当】 ・物忘れ相談を月1回実施しています。ご本人からの相談も多く、早期発見につながっています。予約のないこともありますので、事業周知についての工夫が必要です。 ・介護保険申請等の相談時、オレンジガイド等を用いて受診勧奨や相談先を案内しています。区内に専門機関が少ない状況です。 ・新規で、認知症初期集中支援チーム員による介護相談を年5回実施しました。その後のチーム対応やケアマネ支援につながる方もいました。必要な支援を早期に対応するために次年度以降も継続します。 (新橋) 相談件数 80件 (いずみ野) 認知症相談件数 110件 区の物忘れ相談につながったケースはなかったが、精神科等認知症に関する専門医療の受診勧奨、情報提供を行い、認知症の早期ケア、理解促進に取り組んだ。 (いずみ中央) 相談の中で必要時専門医に繋がれるように情報提供を行いました。 (上飯田) ・111件実施 相談内容によって制度に結び付けたり各機関の紹介をして支援をした。また、区の物忘れ相談や認知症初期支援チームに繋がった。 (踊場) 居宅支援事業所:ケアマネジャーから相談で、認知機能低下の見られるケースに医療機関の介入が必要となり、認知症初期集中支援チーム会議にて検討を行いました。
2 安心して暮らし続けられる環境をつくる	1 利用しやすい相談窓口体制の推進	相談件数	【地域子育て支援拠点における個別相談件数】 604件	区子ども家庭支援課 地域子育て支援拠点すきっぷ	地域子育て支援拠点事業	未就学児とその養育者の居場所、相談、情報提供、さらに地域で子育てを応援している人のネットワークや人材育成を行っています。	【子ども家庭支援課】 拠点「すきっぷ」が持つ7つの役割・機能(ひろば、子育て相談、子育て情報収集・提供、子育てネットワークづくり、人材育成・活動支援、横浜子育てサポートシステム、利用者支援事業(横浜子育てパートナー))について広報し、より多くの区民の皆様を知っていただき、また利用いただくことで、子育て支援の充実を図ります。	【子ども家庭支援課】 区内の保育園・認定こども園・幼稚園を紹介する事業「いずみっこひろば」にて、相談を含めた拠点の役割や機能を紹介する場の提供を行いました。 また、「こんにちは赤ちゃん訪問」時に、拠点の機能・活動等掲載している「すきっぷ通信」を配布するとともに、毎月、広報よこはま区版にて拠点が実施する事業等の周知を行いました。		
		相談件数	【子ども家庭支援課】 727件	区子ども家庭支援課	子ども・家庭支援相談	乳幼児期から学齢期までの悩みごとに、保健師・保育士・学校カウンセラー・教育相談員などが幅広く相談に応じます。	【子ども家庭支援課】 早期の相談により、問題を拡大させず適切な支援を行っていくために「子ども・家庭支援相談」のリーフレットを作成し、保育園児、幼稚園児、小学生、中学生の保護者に配布することを通して、相談窓口をPRLしていきます。	【子ども家庭支援課】 「子ども・家庭支援相談」のリーフレットを作成し、保育園児、幼稚園児、小学生、中学生の保護者へ配布しました。		
		相談件数	30年度 施設開放 360回 子育て相談 927件 育児講座 47回 育児講座 47回 交流保育 33回 子育てサークル活動等の育成・支援 27回(全て常設園のみ)	区子ども家庭支援課	保育所地域子育てひろば事業	施設の地域開放、子育て相談、育児講座、園児との交流保育等の実施をします。	【子ども家庭支援課】 家庭で保育を行っている養育者への支援として、施設で地域開放や育児講座、子育て相談を実施します。	【子ども家庭支援課】 施設開放、子育て相談等を通じ、多くの保護者(養育者)への育児支援を行いました。		

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果
1 健やかに過ごせるまち	2 安心して暮らされ続ける環境をつくる	1 利用しやすい相談窓口体制の推進	様々な相談に対応できるよう、関係機関の職員等を対象とした研修会等を開催し、相談対応者の対応能力の向上を図ります。	研修の企画・実施の実施回数	【高齢者支援担当】 ・新任ケアマネジャー向け研修 3回 ・6包括合同研修 5回 (いずみ中央) ・区内包括合同で、新任CM研修3回実施。 ・新任CM研修3日目は、エリア内居宅の主CMに同行訪問を担当してもらった。 (下和泉) 区内6包括合同新任ケアマネ研修3回(上飯田) 新任ケアマネ研修会 1回 事例検討会 1回 民生委員との交流機会 2回開催(新橋) 6包括合同で新人ケアマネ研修(3日間)実施 (いずみ野) ・区内包括合同で新任ケアマネ研修を実施(3回) (踊場) 区内包括合同で新任ケアマネ研修を実施する。(2回)	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	新任ケアマネジャー研修 主任ケアマネジャースキルアップ研修	関係機関職員を対象とした研修を実施することで、相談職員のスキルアップを図ります。	【高齢者支援担当】 ・新任ケアマネジャーのスキルアップのため包括主任ケアマネジャーと連携し、新任ケアマネジャー向けに介護保険外サービスについて等についての研修を行います(3回コースで、秋に実施予定)。 ・相談・調整技術スキルアップのため区内ケアマネジャー向けに6包括合同で研修を5回実施します。 (いずみ中央) ・区包括合同で、新任CM研修3回実施する。 ・新任CM研修3日目は、エリア内居宅の主CMに同行訪問依頼していく。 (いずみ野) 区内包括合同で新任ケアマネ研修を開催し、スキルアップを図り、個別支援・サポートを行います。(3回) (上飯田) 新任ケアマネ研修を区内の包括と協力しながら開催します。その他にも事例検討会や民生委員との交流機会を開催していきます。 (新橋) 区内全包括支援センターと合同でケアマネジャー向けに研修を開催します。 (踊場) 新任ケアマネ研修は区内包括合同で取り組み開催します。 (下和泉) 区内6包括合同による新任ケアマネ研修を3日間開催します。 ①9月30日(座学)②10月(施設見学)③実習(11～12月)	【高齢者支援担当】 ・新任ケアマネジャーのスキルアップのための研修を、包括主任ケアマネジャーと連携し全3回で実施した。1回目は座学、2日目は関連施設見学、3日目は個別に主任ケアマネとの同行訪問(実習)を実施した。 ・区内ケアマネジャー向けに6包括合同で研修を5回を予定していたが、実際は6回実施した。そのうち一回はケアマネフォンテと共催で行った。 (新橋)区内6包括合同、新任ケアマネ研修2回 (いずみ野)区包括合同で新任ケアマネ研修を開催し、介護保険外サービス、施設見学会、同行訪問を実施しました。(3回) (いずみ中央)区包括合同で、新任CM研修を3回実施。研修3日目は、エリア内居宅の主CMに同行訪問依頼を実施した。 (下和泉)区包括合同にて新任ケアマネジャー研修を3回実施し、ケアマネジャーとして必要な行政サービス等の専門知識向上および地域資源の周知を行いました。 (内訳)9月・座学・10月・区内施設見学・11～12月・主マネによる同行訪問は開催延期 (上飯田) ・新任ケアマネ研修 全3日間で1回 ・事例検討会1回 ・民生委員との意見交換会1回 (踊場) 包括主任ケアマネジャーが連携し、新任ケアマネジャー向けの研修を3回行いました。
			様々な相談に対応できるよう、関係機関の職員等を対象とした研修会等を開催し、相談対応者の対応能力の向上を図ります。	連絡会・研修会の実施回数	(いずみ中央) ・区包括合同のケアマネ連絡会:6回 ・エリア合同のケアマネ連絡会:4回 (下和泉) 下和泉CPケアマネ連絡会 3回 区内包括合同ケアマネ連絡会 6回 (上飯田) 他の包括との合同での勉強会 9回 地域の特性を考え民生委員との情報交換(2回) 事例検討会(1回)開催 (新橋) ・「街の駅 ケアマネサロン」4回実施 ・(包括フォンテ合同含め) 11回 (踊場) 単独開催・区内包括合同開催 計11回 (いずみ野) 区包括合同、他ケアプラザと共催で連絡会を11回	地域ケアプラザ	包括エリアのケアマネジャー連絡会 新任ケアマネジャー支援研修等の開催	介護保険ケアマネジャーを対象とした情報共有、スキルアップの研修を企画・実施します。	(いずみ中央) ケアマネジャーのスキルアップが図られるような内容で、CM連絡会を企画する。 区包括合同またはエリア内包括で実施する。 (いずみ野) 区包括合同や他ケアプラザと共催でケアマネ連絡会を開催し、ケアマネジャーのスキルアップを図り、ケアマネジャー同士のネットワーク構築に努めます。(年11回) 他の包括との合同での勉強会に加え、地域の特性を考え民生委員との情報交換や事例検討会、研修会を開催し、様々なケースに対応できるようスキルアップをはかっていきます。 (新橋) 主任ケアマネジャー連絡会の後方支援を行いません。 (踊場) エリア内で活動するケアマネジャーのスキルアップを目的に、勉強会、事例検討会、情報交換会を年10回開催します。 (下和泉) ・ケアプラザの協力医とケアマネジャーとの連携(るために、下和泉CPケアマネ連絡会において医療分野の相談が行える機会を作ります。(年2回) ・H30年度の研修アンケートの結果をもとに、区内6包括合同ケアマネ連絡会を年6回開催します。①発達障害について(5月)②統合失調症について(7月)③CF(9月位)④生活保護と生活困窮(11月)⑤見立てを養う応答トレーニング(1月)⑥ケアマネの倫理(仮称:3月)	(新橋) ・区包括合同、新人・新任CM研修(3回) ・区包括合同(5回実施) ・エリア内CMに向けて(4回実施) ①基幹支援相談について ②在宅医療について ③認知症における嚔下りハビリ ④ピアスーパージョン(他包括共催) (いずみ野)ケアマネジャーのスキルアップを図るとともにケアマネジャー同士のネットワーク構築を図るため、区包括合同や他ケアプラザと合同で年11回ケアマネ連絡会を開催しました。 (いずみ中央)ケアマネジャーのスキルアップが図られるような内容で、CM連絡会を9回実施。 (上飯田) ・単独、区内包括合同開催を合わせて連絡会を9回実施。 ・感染症予防対策により計画のみで未実施1回 (踊場) 単独開催6回、合同開催5回、計11回開催しました。
			公的サービスの相談だけでなく、様々なニーズに対応できるよう、インフォーマルサポートやボランティア活動等のサービスの仕組みづくりを進めます。	仕組みづくりの取組	・こども家庭支援課担当係長、SSWとの意見交換…1回 ・近隣地区ケアマネジャー研修会…1回	区社協	身近な地域のつながり・支え合い活動の推進	ボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター等で相談を受けると共に、把握した個別のニーズを地域のインフォーマルサービスにつなぐ仕組みづくりを進めます。	【区社協】 ・インフォーマルサービスを利用されている当事者に対し、必要に応じてケアマネジャーが関わられるよう支援します。 ・地域の子育て支援をしている団体と家族がつながるように、助成金団体を中心とした団体の案内をこども家庭支援課学校連携担当やSSW等とまとめ、校長会等で共有します。	【区社協】 ・研修会「つながろう地域と施設(地区社協と社福法人対象)」・「ひきこもりから共生社会を考える(地区社協関係者対象)」を実施しました。 ・生活支援ボランティア養成講座「ちよこつとボランティア講座(全3回)」(ボラセンと共催)を開催しました。 ・地域活動(地域食堂、サロン等)用にセブンイレブン等からの寄贈品を希望団体に配布しました。 ・フードバンクかながわ主催「食支援の輪を広げよう」にて活動報告を行いました。 ・SSW等と共に泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会に11月から定例参加し、区内の子どもに関する情報を共有しました。 ・区内地域食堂実施団体、高齢者・子ども支援に関わる団体の食事サービス情報交換会を開催しました。
		妊娠からの子育ての切れ目のない子育て支援	2	1 2	①母子手帳交付時面接 ②母子訪問時の養育チェックシート活用件数 ③地域子育て支援向上のための検討会、研修会	【こども家庭支援課】 ①1,063件(母子Co.394件 職員669件) ②607件(委嘱母子訪問員423件 職員184件) ③H31年度計画	区こども家庭支援課	妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援充実事業	子どもと養育者が安心して地域社会で生活できるよう、妊娠期からの切れ目のない支援の充実や、孤立しない子育てのできる地域づくりを推進します。	【こども家庭支援課】 母子訪問時の養育チェックシートの活用をさらに推進することで、育児不安を抱える母親を早期に把握し、必要に応じて保健師による訪問・連絡等の継続支援につなげます。 また、母子保健コーディネーター(モデル区)との連携による切れ目のない支援に取り組みます。 新たな子育て支援ニーズを発掘し、必要な支援策を検討するため、子育て実践者とともに検討会(2回)を実施します。 新たな支援策への協力者の発掘と泉区での事業展開に向け研修会(1回)を実施します。
養育者の多様な保育・教育ニーズに対してきめ細かな相談、情報提供等を行います。	相談件数	【こども家庭支援課】 933件	区こども家庭支援課	保育・教育コンシェルジュ	保護者のニーズと必要な保育・教育サービスを適切に結びつけるためのきめ細やかな相談、情報提供等を、保育・教育コンシェルジュが行います。	【こども家庭支援課】 保育・教育コンシェルジュによる、保護者のニーズと必要な保育・教育サービスを適切に結びつけるため、区役所の窓口だけでなく、子育て支援者の育児相談会場での出張相談や赤ちゃん教室の場を活用し案内等を行います。	【こども家庭支援課】 保育・教育コンシェルジュが出張相談を行うことで、小さなお子さんを抱える保護者が区役所まで足を運ばなくても、保育園、幼稚園の相談が出来る環境を作ることができたとともに、赤ちゃん教室の場を活用し、案内を行うことで、相談しやすい環境づくりを行うことができました。			
新入生とその保護者が小学校入学による生活や環境の変化にスムーズになじめるよう、保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ等の相互連携をさらに進めていきます。	連携して行った取組	【こども家庭支援課】 (幼・保・小)教育交流事業 園長校長会・実践交流会(2月)	区こども家庭支援課	まちの学校連携推進事業 放課後児童育成事業 保育施設等との協働による子育て支援推進事業 幼・保・小教育交流事業	泉区内の放課後キッズクラブ、はまっ子ふれあいスクール・放課後児童クラブの運営を支援し、児童の安全で健やかな放課後の居場所を提供します。 ※その他、保育園・小学校の情報交換などを適宜支援	【こども家庭支援課】 幼稚園・保育園・小学校の交流事業である園長・校長会、実践交流会の開催を支援するとともに、必要に応じて個別の情報共有・連携の取組の支援を行います。	【こども家庭支援課】 令和2年2月17日に幼保小教育交流事業として、園長校長会実践交流会が開催され、保育園・幼稚園と小学校との間で情報交換が行われたことにより相互連携が進められました。			
孤立や疾病等による育児不安から児童虐待につながるリスクを減らし、有効な支援につなげるために、広報や講演会等による啓発を進めていきます。	啓発の取組実績	【啓発事業】 ・区民まつり:11月3日参加者300人 ・チャリティーコンサート:11月23日参加者542人 ・庁内各課説明:11月1日～13日参加者363人 《関係機関説明》 8団体:200人 保育園長会、幼稚園教諭学習会、小学校長会、中学校長会、児童支援専任・生徒指導支援専任会、泉区民生委員児童委員協議会、主任児童委員連絡会、飯田地区民生委員児童委員協議会	区こども家庭支援課	児童虐待防止啓発地域連携事業	地域と連携した児童虐待防止に関する広報・啓発事業を実施します。	【こども家庭支援課】 地区民生委員児童委員協議会等、地域での関係者の会議での出張講座、区民まつりや地域の親子向けのまつり等で児童虐待予防に関する啓発を行います。また、泉区広報紙で広く、虐待予防についての周知を行います。	【こども家庭支援課】 12地区の地区民生委員児童委員協議会の定例会や保育園等の関係者機関での啓発として、虐待を発生した時の対応や通告、個人情報保護との関係、区役所や児童相談所での支援について取組を紹介し意見交換をしたことで、支援者の理解と協力が得られるようになりました。また、広く区民向けには、広報での周知や啓発ちらしを自治会町内会の班回覧しました。外国籍の多い地区への支援として、多言語ちらしを作成し周知することで、地域全体で見守り虐待を予防する意識啓発に取組みました。			

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果
1	2	3								
健やかに過ごせるまち	安心して暮らし続けられる環境をつくる	住み慣れた地域で安心して暮らせるための仕組みづくり	高齢者や要介護者が在宅で継続的な医療・介護を受けることができる仕組みづくりを進めます。	在宅医療連携の取組	【高齢者支援担当】 ・多職種連携会議 2回 ・事例検討会 3回 ・人材育成研修 1回 ・市民向け講演会 1回	区高齢・障害支援課	在宅医療連携推進事業	区医師会と連携して、医療機関と介護サービス提供機関相互の連携の強化を進めます。	【高齢者支援担当】 ①多職種連携会議 在宅医療連携上の課題や対応策を、医療・介護に関わる職能団体の代表者が集まり検討します。年2回実施予定。 ②情報共有ツールの作成 昨年に続き、多職種が活用できる情報共通ツールの内容を検討し配布を開始する予定です。お薬手帳とともに携帯できるよう準備を進めていきます。 ③事例検討会 区内の医療・介護関係者による在宅医療連携上の課題や対応策の検討を事例検討を通して行います。年3回実施予定。 ④人材育成研修 医療と介護の連携を推進するため、年1回実施予定。 ⑤市民向け講演会 在宅医療について市民に普及啓発するため、2月に実施予定。	【高齢者支援担当】 感染症予防から、2・3月に予定していた連携推進会議及び事例検討会が中止となりました。2月までについては計画通り行い、アンケート等から介護・医療関係者の顔の見える関係づくりができてきている様子が伺えます。 今年度より、区の課題の整理と共有へ移行しています。 ワーキングについては、ツールの試用とアンケートのまとめまで進みました。次年度以降普及啓発を行います。
			地域に暮らす高齢者等が孤立せず、必要な支援を受けられるよう、見守り事業や相談等を行います。	見守り事業の実施者数 見守りからつながりができた取組	【運営企画係】 6,026人(対象者数) ◇区・包括・民生把握数4,634人(77%) ◇区・包括・民生未把握数728人 ◇相談支援、見守り活動につながった数170人	区福祉保健課	ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業	地域に暮らす高齢者等が孤立せず、必要な支援を受けられるよう、見守り事業や相談等を民生委員、包括支援センターと連携して行います。	【運営企画係】 引き続き民生委員児童委員及び包括支援センターに対して、75歳以上のひとり暮らし高齢者について行政が保有する個人情報を提供することにより、支援を要する人を効果的に把握できるよう支援します。また、把握した状況に応じて、相談支援や地域における見守り活動等に的確に繋げられるよう、民生委員・児童委員、包括支援センター、区福祉保健センターとが情報共有しつつ取り組みます。併せて、包括支援センター職員及び民生委員児童委員の負担感を少しでも軽減できるよう事務事業の改善についても検討していきます。	・対象者は6,051人と前年とほぼ同じ人数だったが、将来、75歳以上の複数居住世帯拡充に備え、事務の改善を行い、民生委員の事務負担の軽減に努めました。 ・訪問対象数は937人。うち、区・包括で状況を把握している475人、民生委員が把握している249人を除く213人を実際に訪問対象とした。 ・訪問した結果、197人の方に会うことができ、56人の方を関係機関に繋げ支援することができた。
			認知症などの高齢者を介護する人が孤立しないよう、介護者の集い等を行います。	集いの実施内容	(いずみ中央)年6回実施 のべ19人参加 (いずみ野)6回開催 延べ15名 (下和泉)8月 26名 11月 17名/ほか ほかサロン 12回開催 361名参加 (上飯田)6回 34名 (新橋)介護者のつどい 10回32人 (踊場)介護者懇談会 12回開催	地域ケアプラザ	介護者のつどいの開催	高齢者を介護する人の情報交換・交流の機会を回ります。	(いずみ中央) 2ヶ月に1回介護者のつどいを開催します。参加者同士の情報交換だけでなく、各回毎にテーマを決め情報提供を行います。 (いずみ野) 介護者のつどいを奇数月6回、いずみ野単独で開催し、キャラバンメイトや地域活動団体と共に、介護者のレスパイト、情報交換の機会をつくります。 (下和泉)富士見が丘地区社協と共催で年2回 介護者のつどいを行います (上飯田) 集いを二カ月に一回開催します。 介護者の方への情報提供と集いの中で情報交換できるような場づくりに努めます。 (新橋) 年10回実施予定。ミニ講座も同時開催 60分間のミニ講座のあとに30分間のお茶会を行う。毎回の講座は地域の薬剤師や介護保険事業所職員等に協力を依頼し、介護者の知識の獲得や気分転換になるような内容とします。 (踊場) 介護している方、経験者の方と交流できる時間が持てるようにし、介護者が孤立しないように支援します。 月1回定例で開催します。	(新橋) ・7回実施。(参加者なし・感染症対策で3回休み)。毎回内容の異なるミニ講座を行い、よい気分転換の機会として介護者に参加していただきました。 (いずみ野) 「介護者のつどい」・年5回(奇数月第4木曜)開催。参加者21名 いずみ野単独で開催。キャラバンメイト、グループホームや特別養護老人ホームの職員、入所者家族等ミニ講座の講師に招いた。 (いずみ中央) 2ヶ月に1回介護者のつどいを開催しました。参加者同士の情報交換だけでなく、各回毎にテーマを決め情報提供を行いました。 (下和泉)富士見が丘地区社協と共催で年2回 介護者のつどいを行いました。(8月15名 11月11名) 民生委員と意見交換しながら企画をしました。 (上飯田) 主に偶数月に開催(4.6.8.9.11月)参加者同士の関係が出来始めている。集いの中でリーダー的な人が参加しているので話しやすい場づくりに重点を置いてみた結果うつつ気味や疲れで外出したくない参加者が出て来れるようになっている。 (踊場) 介護している方・経験者の方が交流できる時間が持てるように支援しました。年10回開催。
			経済困窮等、生活していくことが困難になっている人に、継続的な生活の安定・自立を目指した支援を行います。	自立支援に向けた取組	・新規相談者数(実数) 215人 ・申込者数(実数) 63名 (H31.2. 28現在)	区生活支援課	生活困窮者自立支援制度の実施	生活に困窮した人に対し、就職や家計支出の改善などを通して、継続的な生活の安定・自立を目指します。	【生活支援課】 ① 年度替わりに合わせて、関係各課での事業説明・PRと協力依頼を行います。 ② 家計や就労を切り口とした講座を地域で行い、制度周知に努めます。 ③ 制度周知先、連携先の新規開拓を行います。 ④ ひきこもりの支援の強化のため、地域や関係機関との連携を深めます。 ⑤ 地域保健福祉計画と困窮制度の運動について福祉保健課と協議を進めます。 ⑥ 広報よこはま東区版に、内容を工夫して3回シリーズの掲載を行い、相談者の掘り起こしを図ります。	【生活支援課】 ① 庁内連携のため、関係各課での事業説明を行い、職員向け研修を5回行いました。 ② 新たに始まったセーフティネット会議を生かし、当事者発表及び関係機関と共同して事例(家計・就労)の報告・検討を行いました。 ③ 地区センター等区民利用施設や医療機関へ新たに周知しました。また区民利用施設間ネットワーク会議や区民祭にて周知活動を行いました。 ④ 西部ユースプラザと連携し、若者支援セミナー(全ケアプラザ)にて、地域関係者との意見交換や制度周知を行いました。また地域におけるひきこもり当事者の活動場所と連携し、新たな対象者の紹介や関係者との協議を行いました。 ⑤福祉保健課と第4期の地域福祉保健計画の素案づくりに向けて協議を行い、関係会議にて制度周知を行いました。また地域ネットワーク構築支援事業を生かし、上飯田団地地区の関係機関(包括・LSA・民生委員)との新たな連携の取り組みが進みました。 ⑥ 広報よこはま東区版に3回シリーズ(制度全般・家計・就労)で記事を掲載し、特に就労に対する反響が大きいことが分かりました。
			経済困窮等に関する制度について関係機関との共有→生活困窮等世帯に対する支援の取組		【区社協】 ・今年度は、記録的な猛暑となり、経済的にエアコンの購入ができない方への相談支援や購入費用の貸付を多く行いました。その他、食糧支援や生活費の貸付等、多岐にわたる相談支援を行いました。 ●貸付決定件数 ●教育支援資金…27件 ●生活福祉資金…13件 ●食糧支援…19件	区社協	生活困窮者自立支援制度の実施 →生活困窮等世帯への関係機関と連携した支援の実施	相談者の状況に応じて、関係機関との連携を図った支援を目指します。	【区社協】 ・食糧支援として主に利用していた2HJ(セカンドハーベストジャパン)が有料となります。フードバンク神奈川から毎月食糧支援をもらうよう、協定を締結しました。今後は原則、本会へ取りに来られる方が対象となることから、変更内容や申請方法などを含め関係機関等に案内していきます。 ・教育支援資金においては、虐待や経済的貧困等で多問題を抱え、家族の形態も多様化してきています。未成年者の金銭貸借契約のため、法定代理人が必須となります。理解周知されなく、受験間近で進路変更を余儀なくされる受験生が何人かいたので、昨年同様Cブロック(保土ヶ谷区、旭区、瀬谷区、東区)で中学校・高等学校教諭を対象に説明会を行っていきます。また、中学校長でも概要説明を行っています。 ・生活支援課と教育支援資金借入希望者や生活困窮者への対応について、円滑に相談、手続き対応が出来るよう検討していく機会を作っていきます。 ・民生委員の改選期のため、新たに担当する民生委員には個別に丁寧に説明をしています。	【区社協】 ・フードバンクかながわやセブンイレブンからの寄贈食糧を活用した食支援を行いました。基本はフードバンクからの提供品を中心に、セブンイレブンについては身近事業と共有しながら提供しました。 ・教育支援資金について、近隣ブロックでの教諭向け説明会を開催しました。また、専任指導教諭の会議への参加を通じ引き続き案内をしていきます。 ・生活支援課との連携について、特に生活困窮担当CWとの連携を図りながら生活の見通しが立つように支援しました。 ・民生委員の改選にともない、新任民生委員向けの研修会を担当職員が実施しました。また、民生委員間の引継ぎや新たに担当する民生委員に対して丁寧に説明を対応しました。

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果
1	2	3								
健やかに過ごせるまち	安心して暮らし続けられる環境をつくる	住み慣れた地域で安心して暮らせるための仕組みづくり	認知症高齢者や障害者等の財産を守る権利擁護や成年後見等の理解を進め、制度の活用を推進します。	講座・講演会の開催 権利擁護事業の啓発への取組	・成年後見サポートネット	区高齢・障害支援 地域ケアプラザ	権利擁護講演会の開催	成年後見制度の理解を進め、制度の活用を推進するため、区域、包括エリアでの講演会・出前講座等を行います。	【高齢者支援担当】 ・成年後見サポートネットの全体会 3回、分科会1回 開催予定。 ・泉区版エンディングノート「わたしの人生計画帳」の更新予定(12月完成予定) ・エンディングノートの講座を1回開催予定。 (いずみ中央) 権利擁護事業として成年後見制度についての講座を開催します。 (いずみ野) 消費者被害防止の講座を、地域サロンへの出前講座や警察等関係機関と連携しながら開催していきます。また相続・遺言や後見制度についてわかりやすく理解できる講座の開催をし、権利擁護について学べるとともに、権利擁護の相談窓口としてのケアプラザの役割も周知していきます。他、エンディングノート普及啓発講座を地域サロン、自主事業、区との共催で開催していきます。 (上飯田) 区と区内包括共催で連続講座の実施 地域住民の方が参加しやすいよう地区ごとに講座を開催します。 また、エンディングノートの普及啓発に向け、ノートの配布、講習会を行います。 (講場) 権利擁護の普及啓発のために、成年後見制度・相続・遺言などの講座を開催します。 (下和泉) ・自主事業として9月から3回連続の「老いの不安解消講座」を開催します。 ・12月に区内包括と区の共催でエンディングノート普及・啓発講座を開催します。 ・ケアプラザ館内に国民生活センターが情報発信している「見守り新鮮情報」を掲示し、来館者に向けた消費者被害防止の日常的な注意喚起を行います。 ・地域のサロン等に出向き、消費者被害防止のためのミニ講座を開催します。 ・2月に下和泉地域ケアプラザで開催するスプリング・フェスティバルにて、横浜市消費生活総合センターや警察と協力して消費者被害防止の講座を実施します。 (新橋) 成年後見制度個別相談会を行います。コスモス成年後見サポートセンターとの共催で行政書士に継続的に相談対応を依頼している。地域住民のみならず、地域で活動しているケアマネや民生委員の疑問や悩みへの対応も対応できるようにする。権利擁護についての制度や取組が地域の中で正確に理解してもらい、身近なものに感じることのできる機会を作る。	【高齢者支援担当】 ・成年後見サポートネット全体会3回、分科会1回を計画通り実施し、区内相談機関のスキルアップを図りました。 ・岡津地域ケアプラザ開設に伴い、泉区版エンディングノート「わたしの人生計画帳」を刷新し、内容の充実化を図りました。 ・エンディングノートの周知のため、終活入門と題したエンディングノートの講座を、12月16日に区内包括と合同で開催。66名の参加があり、好評を得ました。 (新橋) 定例8回、定例外2回を行いました。ケアマネジャーや地域の方からの相談を受け、後見申し立て支援につながったケースもありました。相談会以外に講座を開催し、「自分のこれから」についてを考えていただく機会を積極的にもっていただくよう啓発に取り組みしました。 (いずみ野) ・相続・遺言、成年後見制度、生前整理、エンディングノート講座の合計で5回開催 そのうち1回はシニアクラブの会合にてエンディングノート講座を開催 参加者:142名 ・医療に関する知識が学べ、診療における主体的な自己決定の支援等行える出前講座を横浜市に依頼し開催。参加者21名 ・消費被害防止啓発講座を、地域の自治会館にて出張出前講座で1回開催。参加者5名 ・区域では、区と区内包括支援センター共催でエンディングノート普及啓発講座を開催。参加者80名 (いずみ中央)権利擁護事業として成年後見制度についての講座を開催しました。地域のサロン等にて消費者被害防止について予防啓発を行いました。施設見学会開催しました。 (下和泉) ・9/21、10/11、10/26日の3回連続でエンディングノートの内容にリンクした3つのテーマを用いて「老いの不安解消講座」を開催、延べ116名の参加があった。 ・ケアプラザ館内に消費者被害防止専用の掲示板「見守り新鮮情報」を掲示し、来館者に向けた消費者被害防止の日常的な注意喚起を行った。 ・地域のサロン等に出向き、全8回延べ178名のサロン参加者に対し、15～20分程度の消費者被害防止のためのミニ講座を開催した。 ・2/22に下和泉OP主催のスプリング・フェスティバルにて、消費者被害防止のイベントを開催する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止となってしまった。準備の過程で下和泉地区の消費生活推進員とつながりが生まれたため、今後活動に活かす予定である。 (上飯田) 老い支度の準備として遺言や成年後見制度の講座を開催する。(7月) エンディングノートに記すことの大切さの勉強会、ノートの書き方講習会も実施した(7月) 高齢者が消費者被害にあわないよう事例を挙げての講座を開催した(9月) 区と区内包括共催で連続のシルバー講座を開催しエンディングノートの配布を行っている。
				新規相談件数 利用件数	【区社協】 ・新規相談件数:49件 ・利用件数:46件	区社協	権利擁護事業(あんしんセンター)の推進	日常的な金銭管理等が困難な高齢者や障害者に対して、金銭管理や福祉サービス利用を支援します。	【区社協】 ・利用件数は55件を目標とします。 ・支援者向けにあんしんセンター制度説明の場をつくり、周知します。	【区社協】 ・相談件数が昨年度より増加しました(49件→71件)。内部の相談対応体制を強化し(初回訪問にサブ担当も同行)、新規相談対応をスムーズに行うことができました。 ・新任ケアマネジャー向けにあんしんセンターと成年後見制度の説明を行い、支援が必要な人のサービス利用促進を図りました。
				講座参加人数	・上飯田地区見守り会議:40名参加 ・和泉中央民児協:26名 ・新任ケアマネジャー研修:26名 ・踊場地域ケア会議:8名 ・台谷戸サロン:20名	区社協	成年後見制度の周知	認知症高齢者や障害者等の財産を守る成年後見制度の理解を進め、制度の活用を推進します。	【区社協】 ・区民向けに成年後見制度講座を開催します。 また、社会福祉士連絡会に参加して、権利擁護の普及啓発に取組みます。	【区社協】 サポートネット全体会を年3回、分科会を1回開催しました。分科会では「対人援助」にスポットをあて、傾聴ボランティア団体に講師を依頼し、講座を開催しました。
				市民後見人育成の取組	【区社協】 ・成年後見サポートネット全体会:年3回 ・成年後見サポートネット分科会:年1回	区社協	市民後見人の支援	市民後見人に関する啓発や、市民後見人になった人への研修や支援を行います。	【区社協】 ・高齢障害支援課と連携し、バンク登録者が市民後見人を受任できるよう取組みます。 ・市民後見バンク登録修了者の終了後の活動に対する情報提供や、希望者に対しボランティアセンターへつなぎます。	【高齢者支援担当】 ・認知症支援事業及び虐待防止事業連絡会を開催し、関係機関との連携を深めました。 ・包括及び区職員向け高齢者虐待対応研修を実施し、対応力向上を図りました。 ・岡津地域ケアプラザ開設に伴い、市民向け虐待防止普及啓発のためのリーフレットを改訂・配付し、区民への啓発を進めました。
				連絡会議からの取組事例	【高齢者支援担当】 ・高齢者虐待防止連絡会 1回 ・区・包括向け高齢者虐待対応研修 1回 ・ケアマネ向け高齢者虐待対応研修 1回	区高齢・障害支援課	高齢者虐待防止事業	高齢者虐待を防止するための区民や関係機関への啓発や、関係機関との連携を目的とした会議を行います。	【高齢者支援担当】 高齢者虐待の防止、早期発見・対応を目的として、高齢者虐待防止連絡会・研修会の開催(1回)、包括・区職員向け高齢者虐待対応研修(1回)を開催します。 また、地域包括支援センターや介護事業所などと連携して、高齢者虐待に早期発見、早期対応ができるように取り組みます。 高齢者虐待防止の普及啓発のため、リーフレットの配布や広報へ記事を掲載します。	

の推 進 柱	項 重 目 点	名 取 組	行動計画	振返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果	
人 と 人、 活 動 と 活 動 の つ な が り が あ る ま ち	地 域 の 中 で よ り 多 く の 人 と の 交 流 を 進 め る	1 様 々 な 人 と の 交 流 の 推 進	「参加者が一緒に楽しむ」ことを目的に、障害児・者と中学生・高校生、青少年指導員、民生委員・児童委員等との交流を進めるため、「ふれあい”ザ”いずみ軽スポーツ大会」の開催を支援します。	参加者数 大会からの交流の取組	約1,267人	区高齢・障害支援課 区社協	ふれあい”ザ”いずみ軽スポーツ大会開催支援	軽スポーツを通じて障害児・者の社会参加や中学生との交流を実行委員会形式で行ないます。	【区社協】 ・「参加者が一緒に楽しむ」ことを目的に、障害児・者と中学生・高校生、青少年指導員、民生委員・児童委員等との交流を進めるため、「ふれあい”ザ”いずみ軽スポーツ大会」の開催を支援します。中学生への参加賞を障がい者事業所へ発注し大会に参加しない当事者も関わりをもち、障がいがある方への制度説明やバリンピックの紹介ブースでは啓発活動を行います。 【障害者支援担当】 青少年指導員、民生委員・主任児童委員、区内の中学校ボランティア、岡津中学校ダンス部と協力しながら、障害児・者と一緒に大会を作っていきます。また、31年度も引き続き、企業・団体から協賛をいただき、5月25日に大会を開催します。 【障害者支援担当】 ●ふれあい”ザ”いずみ軽スポーツ大会の概要 ・5月25日(土)開催予定 参加者1,300人見込み ・大会の開催により、区内の障害者と中学生、区民の方々等が互いに理解し合い、心を通わせ、助け合えるような心を育みます。	【区社協】 ・当日は1,259名が参加し、ボランティアと参加者が交流を深めました。啓発ブースには、障がいがある方への制度説明やバリンピックに関するパネル等を展示しました。 【障害者担当】 ●第28回大会の実績 令和2年5月25日に開催し、1259人が参加しました。本大会を通じて、障害児・者と中学生、大学生のボランティア、青少年指導員等をはじめとした区民の方々が、相互に理解を深めながら交流し心を通い合わせる機会となりました。また、岡津中ダンス部のみなさんの協力によりダンスプログラムを行い、大会をおおいに盛り上げました。 実行委員会を組織して開催しました。障害者とボランティア、地域住民の交流がすすみました。さまざまな立場の方が、お互いに行えることを探しながら、積極的関わりを持つことができました。	
			小・中・高校生や保護者に対し、乳幼児や高齢者、障害者についての学習・体験してもらおう機会を提供し、理解を進めるための機会を企画・実施します。	参加者数 地域での福祉教育を通じた取組	【区社協】 ・実施回数 9団体 ・参加者数 延べ1722名 ・機材貸出 3団体	区社協	地域の方々や障がいのある方による学校への福祉教育、啓発事業の実施	地域の方々による福祉教育サポーターや、障害当事者や親などと協力して、各学校での福祉教育を更に充実させるとともに、地域住民や企業など対象を幅広く捉えた福祉教育の実践をはかります。	【区社協】 ・先生のための福祉教育連絡会(近隣区合同)を開催します。 ・2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の機運を捉えたプログラムの内容を提案していきます。学校が依頼する福祉教育では、当事者や地域の方々の出会いや多様な生き方に触れることにより、生徒自身が主体的に考え、行動し、共に生きる力を育むことを目指します。また、区内の学校等に向け、福祉教育相談のPRを行います。	【区社協】 ・近隣区合同の先生のための福祉教育連絡会の開催はなかったが、市域での先生のための福祉講座が開催され、過去に相談のなかった学校との関係構築のきっかけとなりました。 ・2020年東京オリンピック・パラリンピックに関連し、障がい者スポーツの講話などを学校で行いました。様々な学校で当事者の講話や福祉体験を実施し、生徒が普段の生活の中で主体的に考え共生していくことを学ぶ学習を進めました。機材の貸出のみの学校へ相談受付が可能なことを伝え、福祉教育の拡充に努めました。	
			受入れ施設数 交流や理解を深める取組	【区社協】 ・協力施設等 16施設	区社協	サマースクール事業	小中学生が夏休みに区内の保育園や高齢者、障害児者施設でボランティア体験を行い、交流や理解を深めます。	【区社協】 ・学校と受入れ施設と連携しながら、児童・生徒が主体的に参加できるよう調整します。また、サマースクール事業をきっかけに、参加者が引き続き他の活動にも参加できるよう活動の場を紹介しながら、児童・青年期から福祉に対して関心が持てるよう働きかけます。	【区社協】 ・児童・生徒がサマースクールに興味関心を持つよう学校への周知依頼を行った結果、前年度より多い申込者が集まりました(71名ー93名)。活動前の開校式でボランティアや各施設についての学習を行い、児童・生徒が主体的に体験ができるよう努めました。また活動後の閉校式にて区内のイベントのボランティア活動を紹介し、数名イベントでのボランティア活動に繋がりました。		
		施設などでの誰もが参加できるお祭りのような場で、活動グループを知ってもらうための機会を設け、活動グループと地域住民の交流を進めます。	イベントを通じた交流の取組	(いずみ中央) ・そよ風フェスタ1回 約1,000人弱 ・貸室団体交流会1回 28人 ・ボランティア感謝と交流の集い1回35人 (下和泉) 利用者懇談会 2回・計 120名 スプリングフェスティバル 延べ4552人 (上飯田) ふれあい連絡会 17団体34名 焼き芋チャリティー 95名 年末貸館団体交流会 31名 (新橋) 会場利用団体交流会 1回・25人 団体大掃除 1回・56人 ありがとうまつり1回・約700人 (踊場) 利用団体発表会3回 143人 (いずみ野) ①9月1日「いずみ野わくわく祭り」実施 参加者:190人 貸室登録団体6団体活動 同日開催「いずみ野マルシェ+」へのケアプラザからの働きかけによる、参加団体 泉区ヘルスメイト・和泉中央・和泉北部子育て支援ネットワーク(2団体) ②2月3日「相鉄いずみ野沿線環境未来都市節分際」ステージ発表1団体およびケアプラザ内、貸室利用団体1団体活動。	地域ケアプラザ	活動団体発表会の開催 ケアプラザまつりの開催	各地域ケアプラザ主催のイベントにて、地域活動グループの紹介や交流の機会を図ります。	(いずみ中央) 多くの地域の方々や作業所などが交流できる場をめざし、そよ風フェスタを継続して実施予定です。また、ケアプラザをご利用されている方向士の交流の場となるよう貸室団体交流会、ボランティア感謝と交流の集い等各種事業を実施予定。 (いずみ野) 年間を通じて催以下のイベントを開催し、ケアプラザの周知と地域活動グループの活動の場を提供します。 ①いずみ野わくわく祭り(夏) ②健康フェスタ(秋) ③節分祭り(冬) (下和泉) 利用団体の方が地域貢献や交流の場や活動を広げる場として、企画を共に実施していきます。 部屋利用者懇談会(7月・12月) スプリングフェスティバル(2月)の交流の場を提供します。 (上飯田) ふれあい連絡会 年一回実施予定 焼き芋交流会 年一回 年末貸館団体交流会年一回実施予定 (新橋) 継続する、団体交流会・大掃除、ありがとう祭の実施 (踊場) 利用団体のモチベーションアップ、また地域との交流の場として、第5火曜日には利用団体発表会を引き続き開催予定です。また、31年度は、踊場ケアプラザの20周年となるため、20周年記念イベントを開催予定です。	(新橋) 会場利用団体交流会 1回・30人 団体大掃除 1回・29人 ありがとうまつり1回・約700人 (いずみ野) いずみ野わくわく祭り(8/31) 横浜市・相鉄が主催する「いずみ野マルシェ+ (プラス)」と同時開催しました。 多くの方が来所され、ケアプラザ内および、野外ステージなどで貸室団体6団体が活動されました。(参加人数300名程度) 健康フェスティバル 近隣の特別養護老人ホーム白寿荘との共催ですべての世代の方に健康について考えてもらうきっかけづくりとして開催しました。延べ487人が来所されました。 いずみ野節分祭り 横浜市・相鉄が主催する「いずみ野節分祭り」に共催として参加し、親子で参加できるスタンブラリーや和泉北部保健活動推進員と協力し健康測定ブースなど会場の提供を行い地域住民との交流の場を設けました。(場所の提供のみ) (いずみ中央) ・そよ風フェスタ1回 約1,000人弱 ・貸室団体交流会1回 28人 ・ボランティア感謝と交流の集い1回35人 (上飯田) ・ふれあい連絡会16団体32名 ・焼き芋チャリティー149名 ・貸館団体交流会16団体44名 ふれあい連絡会を実施し、主に上飯田地区の地域の活動団体を対象とした親睦会を行い、お互いの活動の紹介や交流を行いました。また、焼き芋企画でチャリティーを行い、地域の民生委員や町内会の方々の協力を得て、高齢者、障がい者、子ども達との多世代交流イベントを行いました。集金した義援金は日本赤十字を通して令和元年台風19号災害義援金の義援金にあてました。 (踊場) 利用団体発表会では、利用団体のモチベーションアップと、地域の方との交流の場となりました。 20周年イベントでは、たくさんの団体の活動発表や団体だけでなく地域のお店や作業所にも出店などで参加していただいた。二俣川看護福祉高等学校と連携し、ボランティア4名参加となりました。		
				子育て世代が不安や悩みを抱えながら子育てをしている実情を理解し、周囲からのサポートを進めるためのきっかけとなるよう講座を開催する等、働きかけを進めます。	区域・ケアプラザエリアの実施回数 ネットワーク連絡会議の取組	【こども家庭支援課】 区域2回 48人 エリア別65回	区こども家庭支援課	泉区子育て支援連絡会 エリア別子育て支援ネットワーク連絡会	泉区の子育て支援活動、状況について情報共有すること、エリア別の活動が発展するよう、エリア別の活動について報告し情報交換をします。エリア別ネットワーク活動支援として、地域活動者による主体的活動を地域子育て支援拠点、地域ケアプラザと協力して支援します。また、地区社協支援としての区社協とも協力して行います。	【こども家庭支援課】 泉区子育て支援連絡会を年2回開催しました。区域全体での子育て支援活動、状況について情報共有すること、エリア別の活動が発展するよう、エリア別の活動について報告し情報交換をします。エリア別ネットワーク活動支援として、地域活動者による主体的活動を地域子育て支援拠点、地域ケアプラザと協力して支援します。また、地区社協支援としての区社協とも協力して行います。	【こども家庭支援課】 泉区子育て支援連絡会を年2回開催しました。区域全体での子育て支援活動、状況について情報共有し、エリア別の活動が発展するよう、エリア別の活動について報告し情報交換をしました。 エリア別ネットワーク活動支援は、地域子育て支援拠点や地域ケアプラザ、区社協と連携しながら各地区の地域活動者による主体的活動となるよう支援しました。区子育て支援連絡会でエリア別の活動報告をすることが、活動目的や今後の方向性を確認する機会にもなりました。
				提供会員数	30年度 90人 (※両方会員 36人)	区こども家庭支援課 地域子育て支援拠点すきっぷ	横浜子育てサポートシステム事業	児童を預けたい人(利用会員)と児童を預かる人(提供会員)とが利用できるようコーディネートすることにより、地域ぐるみで子育てを支援していく「有償のボランティア」の仕組みです。	【こども家庭支援課】 広報よこはま区版への掲載をはじめ、地域でのチラシの回覧、小・中学校での配付など、あらゆる機会を通じてPRを行い、提供会員の増員を図りながら、利用会員のニーズに合わせた支援を実施します。	【こども家庭支援課】 広報よこはま区版で事業周知及び会員募集の記事を掲載した他、小・中学校校長会を通じて児童の保護者への提供会員募集チラシの配布及び自治会町内会での回覧を行い、提供会員の確保を行いました。	
		障害児・者や家族が感じる、生活上支障があることを知り、周囲ができるサポートを考えるきっかけとなる講座の開催等普及啓発を行います。	自立支援協議会 こども部会の開催回数 重中部会の開催回数 (関係機関による啓発活動の実施回数)	【こども家庭支援課】 セミナー参加者:82人	区こども家庭支援課	障害理解の普及啓発	発達障害児や家族が地域で安心して生活できるよう、いろいろな機会をとらえて障害児との交流や学習会等の機会が増えるよう働きかけます。	【こども家庭支援課】 障害児者や家族、関係者の障害理解の推進や障害児支援機関の連携が図られるよう、自立支援協議会のこども部会、重中部会の活動を支援します。エリア別子育て支援ネットワーク連絡会の活動においても障害理解について啓発していきます。	【こども家庭支援課】 自立支援協議会のこども部会は、部会の取組を整理し、障害児・保護者への支援が継続性のあるものとなることや障害理解を当事者自身や地域に向けて啓発できるように、関係機関の連携を図り意見交換を続けることを目指し、部会活動を再度継続することができました。重中部会では、災害時に備えた取組について学習を支援しました。		

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果			
2	1	2	人 と 人 、 活 動 と 活 動 の つ な が り が あ る ま ち	地 域 の 中 で よ り 多 く の 人 と の 交 流 を 進 め る	サ ポ ー ト が 必 要 な 人 へ の 理 解 の 推 進	障害児・者や家族を感じる、生活上支障があることを知り、周囲ができるサポートを考 えるきっかけとなる講座の開催等普及啓発 を行います。	相談件数	【区社協】 ・実相談数 105件	区社協	移動情報センター	障がい児・者の移動に関わる窓口として相談を 受けコーディネートします。ガイドボランティアの 事務取扱団体としてボランティアの確保に努めま す。	【区社協】 ・計画相談員や区役所、移動支援に関わる事業所、地域との連携を大切に、相談支援を円滑にすすめます。 ・講座を開催し、地域住民が障がい理解を深める機会をつくり、ガイドボランティアなどの障がいのある人を支 援するボランティア活動へつなげることを目指します。引き続き、ニーズのあるエリア、担い手が少ないエリア での事業のPR活動などに取組めます。 ・事業所間の顔の見える関係をつくりのため事業者連絡会を開催します。	【区社協】 ・相談に対応すべく、相談者にかかわる計画相談事業所、区役所ケースワーカー等関係機 関と連携し、相談支援を進めました。 ・障がい理解講座では、障がいのある方の家族による啓発グループの皆さんをお呼びし、障 がいのある人の心に迫った疑似体験を行い、障がいのある人が特別な感情を抱く特別な存 在ではなく、障がいは個性の一つであることを学びました。当日は35人もの参加者が集まり 好評を得ました。 ・瀬谷区、保土ヶ谷区、旭区と共に事業所向けにリスクマネジメントに関する研修を行い、そ の後、各区の状況について共有しました。
						講座開催数	【区社協】 ・セイフティネットプロジェクト横浜出前 講座5件実施	区社協	障害児・者と交流する事業や、理解 を深めサポートを考えるための講座 等の実施	福祉の作品展等で障害児・者との交流や、障害 に関するボランティア講座の開催を通して理解を 深める取組を進めます。	【区社協】 ・これまでに実施した地域防災拠点や自治会等には、継続して取組みが進むよう支援します。また、関係機関 と連携し、さらに開催母体が拡充されるよう取組めます。	【区社協】 ・福祉の作品展を開催し、障がい理解・啓発に取り組みました。 ・昨年度に引き続き地域防災拠点や自治会等に向けて、障がい理解出前講座を行いま した。セイフティネットプロジェクト横浜出前講座を3件実施しました。 ・地域の障がい団体が主催する「災害シンポジウム」において、泉区の葛野小学校地域防災 拠点の取組が紹介されました。	
						障害児・者への理解を深めるきっかけづく りの場として、障害児・者団体、障害福祉施 設、地域作業所による自主製品販売支援 の継続、業務依頼を行います。	出店回数	【区庁舎での販売】 ・販売実績：244回(通年週5日) ・区内の障害者団体への出店希望の有 無についてのアンケートを実施 ・区内障害福祉施設マップの作成(12 月、2000部) 【戸塚駅での泉区産農産物販売支援】 ・販売実績：95回(通年週2回(水・金)) ・参加障害者団体との意見交換会の開 催(1回、2月) ・事業の運用ルールを文書化(事業の 目的、参加条件、障害者団体と区役所 の役割分担など)要綱改正	区高齢・障害支援 課	自主製品等販売活動支援事業	区庁舎や区内各地イベントで各事業所の自主製 品の販売の支援を行います。	【障害者支援担当】 区庁舎での自主製品の販売活動および市営地下鉄戸塚駅構内の泉区産の農産物の販売機会を支援しま す。12月の福祉の作品展に合わせて自主製品の販売と障害理解啓発のためにパンフレットの掲示などの取 り組みを実施します。	【障害者支援担当】 区庁舎内での自主製品販売を通年週5回、戸塚駅での泉区産農産物の販売を週2回(水・ 金)実施しました。また、フェリス女学院大学大学祭に2施設が参加し自主製品の販売を行 いました。 販売機会の支援により障害のある方の社会参加が促進されました。また、販売を通じて地域 の方との交流をすることで、障害のある方についての理解を促進しました。 令和元年12月2日～6日まで、障害者週間にあわせて福祉の作品展を区社協、自立支援協 議会日中活動部会との共催で実施しました。作品の展示と障害者団体の販売を同時に行 うことで、障害のある方の日々の過ごし方や就労について、区民の方により実感していただ く機会となりました。
障害児・者の余暇支援と、一緒に活動する ボランティアの育成を行います。	実施回数、ボランティア参加者 数 交流や理解を深める取組	【区社協】 ・夏季ジュニアフレンドのみ開催。 4回・31人参加 (いずみ中央) ジュニアフレンド夏1回28人 (下和泉) 台風のため実施できず。防災訓練を通 して地域の方へ理解を深めました。 (上飯田) ジュニアフレンド夏季事業 参加者8名 ボランティア 8名 (新橋) ジュニアフレンド事業 0回・0人 障害者当事者のボランティア育成 (踊場) 夏1回34人 (いずみ野) びぐれっと料理教室(毎月第1水曜) 全8回(8月よりスタート)47名	区社協 地域ケアプラザ	ジュニアフレンド事業	障害児の余暇支援事業に、学生を中心としたボ ランティアが参加し、障害児との交流や理解を深 めます。	【区社協】 ・ジュニアフレンド事業は、区域で障害児余暇支援事業を進めるのではなく各地域ケアプラザが中心となり各 エリアで進めていくこととなったため、H31年度は開催しません。また、ジュニアフレンド事業実行委員会は、平 成30年度を持って解散しています。 (いずみ野) 社会福祉法人びぐれっとと共催で「びぐれっと」料理教室を開催します。活動にはケアプラザに登録しているボ ランティアが参加します。 (上飯田) ・障がい児余暇支援事業 年一回実施予定 (新橋) 障害児余暇支援事業 1回 (踊場) ジュニアフレンドは解散となったが、学生のボランティア育成のためにも、他のケアプラザ、かがやきと協力し て、合同での外出レクも企画していきたい。また踊場の障がい事業(いずみ寺子屋・おどりば青年隊・仕事頑 張り隊)の外出レクには、学生など外部ボランティアを受け入れて活動していきます。 (いずみ中央) ジュニアフレンド事業は企画を検討、実施の場ではなく情報共有・意見交換の場となるため余暇支援事業とし てのジュニアフレンドについて実施する計画なし。	【区社協】 ・ジュニアフレンド事業は終了しましたが、今年度は3回区社協、CP、学校などの関係者で集 まり、区域の障がい児余暇の状況や各機関の取組について情報共有を行いました。 (新橋) 夏休み親子工作教室 1回3名 親子で楽しむ竹細工教室 1回3名 健康歌声サロン 11回33名 (いずみ中央) ジュニアフレンドは開催なし。ケアプラザ自主事業の障害児・者余暇支援事業「飛行船いず み」を年10回実施し、参加してくれるボランティアの方を募集。学生2名の参加あり。 (上飯田) 以前のジュニアフレンドのメンバーで定期的に情報交換を行い、今後の共済事業について提 案している段階。上飯田ケアプラザ独自では、地区担当のヘルスメイト共催で長期休暇の障 がい児余暇について計画した。 (踊場) いずみ寺子屋・おどりば青年隊事業にて、外出レクや20周年イベントで出店を行った際、外 部ボランティアなども受け入れ、実際に関わってもらうことを中心に参加してもらった。						

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果
人 と 人 、 活 動 と 活 動 の つ な が り が あ る ま ち	地 域 の 中 で よ り 多 く の 人 と の 交 流 を 進 め る	サ ポ ー ト が 必 要 な 人 へ の 理 解 の 推 進	認知症高齢者を理解し、支える認知症サ ポーターの養成と活動支援を行います。	認知症サポーター数	【高齢者支援担当】 13,292人(平成30年9月末現在) (いずみ中央) 新たな講座開催として、エリア内の障害 者向け作業所を運営する社会福祉法人 の職員向けにサポーター養成講座を開 催しました。またオレンジリングを持った 方のスキルアップのための講座を初め て開催。51名の方が参加されました。 (下和泉) 認知症サポーター養成講座6回 延べ 参加人数256名 (上飯田) ・認知症サポーター養成講座開催支援 小・中学校 156名、介護事業所 24名 ・キャラバン・メイト連絡会 1回 (新橋) 認知症サポーター養成講座 計4回158 名(踊場) 中田地区社協との共催で認知症サポ ーター養成講座を開催。 【いずみ野】 ・認知症サポーター養成講座 8回 168 名	区高齢・障害支援 課・ケアプラザ	認知症キャラバンメイト支援	認知症キャラバンメイトの活動を支援し、認知症 サポーター養成講座を行います。	(高齢者支援担当) 区認知症キャラバン・メイト連絡会(年1回)開催します。キャラバン・メイトの活動状況についてアンケートを 実施し、現状把握を行います。各地域ケアプラザエリア毎連絡会開催支援、認知症サポーター養成講座開催 調整を行います。 (いずみ中央) ・地域へのサポーター養成講座の実施。 ・スキルアップ講座の実施。 (上飯田) ・エリア内の認知症キャラバン・メイト連絡会の実施 ・認知症サポーター養成講座の開催支援 (下和泉) 下和泉エリアメイト連絡会を年4回開催し、メイトと連携のもと、認知症サポーター養成講座の企画と開催を行 います。①小学校(5月)②中学校(調整中)③施設(10月)④民生委員(1月～2月)⑤一般向け(調整中)	【高齢者支援担当】 ・認知症キャラバン・メイトに対して、アンケートを実施しました。(回収率48%)約半数が活動 しておらず、都合が合えば包括等と協力して実施したいと回答しています。包括と協力しなが らの開催支援を継続します。 ・認知症キャラバン・メイト連絡会を研修と兼ねて1回実施しました。他包括毎に連絡会を開 催しています。研修は大変好評で、今後もスキルアップ研修を実施していきます。 (新橋) ・地域のサロンにて「認知症予防」や「認知症とは何？」等の講座の実施。 ・泉区社協の依頼により、泉区社協ボランティアセンター登録者、地域の福祉活動に関心の ある区民に対し泉区社協主催の認知症サポーター養成講座とともに高齢者の理解講座を実 施。 (いずみ野) ・ケアプラザ、自治会、横浜銀行、シニアクラブ連合で認知症サポーター養成講座を実施しま した。(5回) ・オレンジリングを持っている人向けにサポーターステップアップ講座を2回連続講座を 実施しました。 (いずみ中央) ・地域の作業所や金融機関、シニアクラブを対象にした認知症サポーター養成講座を実施し た。 ・サポーター養成講座を受講した方を対象にした、スキルアップ講座を企画したがコロナウイ ルス感染拡大防止のため講座を開催することはできなかった。 (下和泉)下和泉エリアキャラバンメイト連絡会を年3回実施し、メイトとの協力体制のもと、小 学校(6月:参加者60名)・グループホーム(9月:参加者80名)を対象に、認知症サポーター養 成講座を開催しました。※中学校・施設・民生委員・一般向けのサポーター養成講座につい ては未開催。 (上飯田) ・認知症サポーター養成講座の開催支援を行った。 上飯田中学校 109名、飯田北いちょう小学校 58名 ・エリア内キャラバン・メイト連絡会 1回 (踊場) 認知症キャラバンメイトとグループホーム職員の方とで、認知症サポーター養成講座を開催 できました。 区の連絡会には出席しましたが、エリア内連絡会は、開催できませんでした。
			活動のネッ トワークと連 携を強化す る	共通課 題の解決に 向けた取組 の推進	同じ分野で活動している地域の活動グル ープや関係機関等による連絡会議を開催し、 共通する区域の課題を整理しながら、解決 方法を検討します。	連絡会から発展した取組	【高齢者支援担当】 認知症支援事業連絡会(1回) 認知症支援事業担当者連絡会(2回) (上飯田)高齢者虐待防止連絡会 1回 (新橋)実施なし (踊場) 認知症高齢者対策連絡会、高齢者虐待 防止連絡会へ参加した。	区高齢・障害支援 課 地域ケアプラザ	認知症高齢者対策・高齢者虐待防 止連絡会の開催	区内の高齢者関係機関と共に、共通課題の解決 方法を検討します。
			実務者会議、個別ケース検討 実施回数 連絡会議での取組	【こども家庭支援課】 実務者会議2回 参加者:115人 個別ケース検討会議59回	区こども家庭支援 課	要保護児童対策地域協議会	要保護児童等の早期発見や適切な保護・支援を 図るため、要保護児童対策地域協議会を開催 し、関係者の情報共有、課題の解決に向けた検 討を行います。	【こども家庭支援課】 区域の関係者による実務者会議を年1回(5月)開催し、機関相互の円滑な連携のための情報交換や協議 を行います。また、要保護児童対策地域協議会構成機関向けの研修を年1回(10月)に行います。 更に、子どもや養育者に直接関わりのある関係者が集まり、支援策の検討を行う個別ケース検討会議を必 要時に開催します。	【こども家庭支援課】 区域の関係機関による実務者会議を年1回(5月)開催し、機関機関の円滑な連携のため の情報交換や協議を行いました。また、要保護児童対策地域協議会構成機関向けの研修を 年1回(11月)に行いました。 個別ケース検討会議として、子どもや養育者に直接関わりのある関係者が集まり、支援方 針や役割分担等の検討を行い連携した支援ができるようにしました。	
			公民保育園の研修参加者数	30年度 研修:31回 673人 交流:37回 22園	区こども家庭支援 課	保育資源ネットワーク構築事業	保育資源間での保育・教育の関する実践研修や 公開保育等の実施、情報交換・ノウハウの共有 化の取組を実施します。	【こども家庭支援課】 各施設が抱える様々な課題についての情報交換を研修会等を通じて行うことにより、課題解決に向けたノウ ハウの共有化、施設間交流の実施による保育士同士の交流や連携、遊びの幅の広がり、保育の質の向上に つなげていきます。 年長児にとっては他園の友達と遊ぶ楽しい機会になると同時に、同じ就学前の友達との出会いにもなり、就学 への不安の解消、期待にもつなげます。	【こども家庭支援課】 各種研修会・交流会を実施し、保育施設等全体のスキルアップを図り、質の高い保育サー ビスを提供しました。	
			連絡会議等での課題解決の取 組	【区社協】 (ボランティアネットワーク 登録88団 体) ・運営委員会11回 ・子育て支援部会、一般部会、障がい者 支援部会、高齢者支援部会各1回 ・ボランティアフォーラム1回 (ボランティア・市民活動分科会…48団 体) ・分科会1回 ・専門機関部会 2回(会員登録113個 人・団体) ・地区社協分科会 6回 ・地区社協・身近事業合同研修会 2回	区社協	課題共有やその解決のため、ボラ ンティア連絡会の有効活用 一課題共有やその解決のため、ボ ランティア団体連絡会や専門機 関部会(法人・施設の連絡会)等との連 携強化	会員組織を活かして、地域の活動グループや関 係機関等による連絡会議を開催し、共通する課 題の解決方法を検討します。	【区社協】 ・食事サービスにかかわる新しい助成金制度を申請している団体を対象に情報交換会を実施します。内容は 相互の活動報告の他、セブンイレブン等からの食材の提供も同時に行えるように検討します。 ・ボランティアネットワークの各部会であがった課題等をボラネット通信で各団体にに向けて発信する等、運営委 員会において解決方法を検討します。 ・地域のボランティア・市民活動部会担当やボランティアセンター運営委員会に新しい委員を迎え、それぞれの 視点から意見をいただくようにします。 ・専門機関部会では29年度から社会福祉法人の地域貢献について意見交換、情報共有を図ってきた。31年 度はより具体的な活動に繋がる様に各エリアに働きかけ、エリア毎の部会が開催できるように支援していく。また 専門機関部会会員と地域活動者の情報共有の場を設け、繋がりづくりを行います。 ・各地区社協に向けて手引き研修を引き続き行います。地区担当へヒアリングを行い、より具体的に地区社協 の使命を意識していただくように働きかけます。また市域の他地区社協の活動情報なども共有し、新たな方向 性を見出せるように支援を行います。	【区社協】 ・食事サービスにかかわる新しい助成金制度を申請している団体を対象に情報交換会を 実施しました。 ・ボランティアネットワークの各部会での意見交換の様子など運営委員会で情報提供し、地 域課題等について共有しました。 ・ボランティアセンター運営委員会では各分野の委員が参加し、地域のボランティア活動や 担い手について情報交換を行いました。 ・専門機関部会で取り組む社会福祉法人の地域貢献の事例を、地区社協との合同研修で紹 介し、今後の連携強化につなげました。また、2層協議体等でエリア毎の取り組みを支援しま した。 ・各地区社協に向けて手引き研修を引き続き行い、新たに4地区で実施しました。地区担当 から各地区会長・役員へヒアリングを行い、より具体的に地区社協の使命を意識していただ くように働きかけました。市域の他地区社協の活動情報などを地区社協分科会で共有しまし た。	
			子どもの育ちや親の不安を支えていくため の子育て課題を多様な視点から解決す るため、子育て支援ネットワークによる関係 機関との連携を進めていきます。	区域・ケアプラザエリアの実施 回数 ネットワーク連絡会議の取組	【こども家庭支援課】 区域2回 エリア別55回(1月末時点)	区こども家庭支援 課	泉区子育て支援連絡会 エリア別子育て支援ネットワーク連 絡会 【再掲(2-1-2)】	泉区のひとつひとつの子どもの育ちと親を支えて いくために必要な子育て課題に対し、関係機関 の連携により、課題解決を進めていくことを目的 として、エリア別、区域での子育て支援支援連絡 会を開催します。	【こども家庭支援課】 泉区子育て支援連絡会 エリア別子育て支援ネットワーク連絡会 【再掲(2-1-2)】	【こども家庭支援課】 泉区子育て支援連絡会、エリア別子育て支援ネットワーク連絡会の実施 【再掲(2-1-2)】

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果
人 と 人、 活動 と活動 のつな がり がある まち	活 動の ネッ トワ ーク と運 携を 強化 する	1 共 通課 題の 解決 に向け た取 組の 推進	地域様々な団体や民間企業等と協働し、当事者の社会参加・自己実現を進めている泉区障害福祉自立支援協議会を支援します。	連絡会から発展した取組	【障害者支援担当】 ・総会 1回 ・7部会2プロジェクト 延べ95回 日中活動部会と区社協、区役所と共催で、福祉の作品展に合わせて、自主製品の販売と障害理解啓発の取り組みを実施した。	区高齢・障害支援課	泉区障害福祉自立支援協議会の支援	区内の障害団体や障害福祉サービス事業所等の連携強化を目的としたネットワークを行います。	【障害者支援担当】 泉区障害福祉自立支援協議会の総会のほか、障害のある当事者の情報交換・余暇活動の支援や事業者等のスキルアップなど、テーマごとに部会等を開催します。自立支援協議会の体制を6月から変更していくため、参加事業所等による地域課題に対しての意見交換や協力体制の構築等を支援します。	【障害者支援担当】 令和元年度は、自立支援協議会を「地域の課題を共有し、解決に向け協働する場」としてより機能できるように「事務局」「協議会」「各部会（精神保健福祉部会、グループホーム部会、本人部会、みんなで個別支援を考える部会、子ども部会、重点部会、相談支援部会）に組織を新たに編成しました。協議会では1年を通し地域生活支援拠点機能の役割を理解するとともに、各事業所がどのような役割を果たせるかなどの課題共有を行いました。泉区の課題を協議することなどを通し、各事業所の顔の見える関係の構築をし連携ができるようになっていきます。
			高齢者の自立を支援し、地域で高齢者を支えるネットワークを強化するため、地域ケア会議を開催して個別ケースの課題分析等を積み上げ、地域の課題を把握することで、課題解決のために必要な社会資源の開発・地域づくり・市の政策への反映等につなげていきます。	ケア会議の開催数 ケア会議からの課題整理、取組事例	【高齢者支援担当】30年度実績 区レベル2回 いずみ中央CP:個別レベル3回、包括レベル1回 下和泉CP:個別レベル2回・包括レベル3回 上飯田CP:個別レベル2回、包括レベル2回 踊場CP:個別レベル3回、包括レベル2回 新橋CP:個別レベル1回、包括レベル1回 いずみ野CP:個別レベル3回、包括レベル2回	区高齢・障害支援課	地域ケア会議	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる体制がある地域づくりを行います。会議は区域・包括支援センターエリアで実施します。	【高齢者支援担当】 区レベル2回 区内地域包括支援センターにて個別レベルおおむね3か月1回、包括レベル年2～3回を目安に開催予定。個別地域課題解決、ネットワーク構築、地域課題発見、地域づくり・資源開発などを目指します。 (いずみ野) 奇数月に個別ケースを行い、包括レベルを年に1～2回開催予定。平成30年度から移送・居場所つくりの問題があがっており、今年度も検討し、つなげていく予定。 (下和泉)総合相談が多いエリアにおける包括レベル会議を3回実施します。 (新橋):個別レベル3回 包括レベル2回	【高齢者支援担当】 地域ケア会議開催数:区レベル地域ケア会議1回、個別ケース地域ケア会議11回、包括レベル地域ケア会議9回開催しました。包括支援センター職員のみならず、生活支援コーディネーターも参加し、地域課題発見、地域づくり・資源開発に向けた検討も行っていきます。 (いずみ野) 個別の地域ケア会議3回、包括レベルを年2回実施し、昨年度からケア会議を実施し、移送について検討し協議体に繋げました。 (いずみ中央) ・個別レベルを年間2回開催した。包括レベルを3月に企画したがコロナ感染拡大予防の為に中止となった。 (上飯田) ・個別レベル2回、包括レベル2回。
地 域活 動へ の参 加が す む ま ち	地 域活 動の 担い 手を 養成 する	1 新 たな 担い 手の 育成	講座の企画・実施	講座の企画・実施	【区社協】 ・横浜シニア大学 ・視覚障がいの理解講座(全3回) ・高齢者の介助入門講座 ・施設職員向けボラ担講座 (区民ホール 出張ボランティアセンター) ・3日間	区社協	これから地域に戻る世代を対象にしたボランティア団体、ボランティアの紹介、地区社協と連携して自分の技術や経験を活かせる場の開拓 →これから地域に戻る世代を対象にしたボランティア活動やボランティア団体の紹介	趣味や特技を活かしたボランティア活動ができるよう、世代の特性にあわせた講座を開催します。	【区社協】 ・戸塚法人会泉支部やJA、CSR(地域を意識した経営を行うとともに、本業及びその他の活動を通じて、環境保全活動、地域ボランティア活動などの社会的事業に取り組んでいる)をおこなっている企業等を中心にボランティア講座等の紹介を行います。 ・高齢者への介助入門講座はこれまでのケアプラザの協力の他に、キャラバンメイトをからめて認知症理解講座も合わせておこないます。 ・高校生、大学生のためのボランティア入門相談を実施し、若い世代が地域活動に加わるきっかけ作りを行います。	【区社協】 ・JAや区内郵便局などにボランティア講座の紹介やチラシ配架の依頼を行い、企業に向けた地域活動の周知を行いました。 ・高齢者の理解講座ではケアプラザとの協力の他に、キャラバンメイトを講師に招き認知症サポーター養成講座を行い、高齢に伴う心と身体の変化について学びました。 ・近隣学校へボランティア講座や相談についてチラシの掲示を依頼し、ボランティア活動の周知に努めました。
			講座からつながった担い手の活動	講座からつながった担い手の活動	・平成30年度ボランティア養成講座リーフレット配布数 3000枚	区福祉保健課	担い手発掘に向けた取組	対象者の関心のあるテーマを設定し、より担い手の活動につながる講座内容を企画・実施します。	【事業企画担当】 地域活動を持続可能にしていくために、「地域活動・就労・いきがい」をキーワードとした関連情報を発信やニーズとのマッチングの場として「地域活動・就労・いきがい支援フェア(仮称)」を開催します。社会の現状を知ること、様々な選択肢があることに気づき、その気づきを実現するための居場所や活動をご紹介していきます。	【事業企画担当】 8月2日間、イトーヨーカドー立場店で「応援フェア」を開催しました。 (2日間で延べ300人の来場)
			講座の企画・実施	講座の企画・実施	(いずみ中央) シニアポイント登録研修会。1回14名 (いずみ野) ボランティア講座「ボランティアはじめの一步」⇒中止(参加人数が集まらず) (上飯田) 男性のための料理教室 全6回 36名 麻雀大会(ボランティア養成講座)全2回 (新橋) 実施なし (踊場) 男性担い手発掘事業「俺のそば打ち」開催7月～1月 (いずみ野) ボランティア講座「ボランティアはじめの一步」⇒中止(参加人数が集まらず) (下和泉) 1回 20人	地域ケアプラザ	ボランティア講座の企画・実施	ボランティア講座を行い、地域で活動する担い手を養成します	(いずみ中央) 生活支援Coと連携しシニアボランティアポイント登録研修会を実施予定です。また地域のシニア男性のグループ「ducks」との共催事業「男性のためのアクティブLife講座」の参加者及びスタッフからボランティア活動に繋がるようコーディネートしてまいります。 (いずみ野) 泉区社会福祉協議会と共催で「ボランティア講座」を開催します(1回) (上飯田) 男性のための料理教室 回数未定実施予定 麻雀大会 年2回実施予定 (新橋) シニアボランティアポイント講座の企画・実施1回 (踊場) 完全自主事業から、共催事業となった「泉中田のそば打ち同好会」(元俺のそば打ち)は31年度も参加者募集をしていく方針のため、講座、畑作業、そば打ち含め、運営等の支援を続けていきます。	(新橋) 団体交流会でのボランティア講座 1回30名 広報誌でのボランティア特集 1回1700部 (いずみ野) ①シルバー世代の男性を対象とした料理教室「男飯」を東京ガスエコモ共催で実施しました。 (隔月・全6回・50名) ②地域活動につながるきっかけづくりとして、メンズ体操教室を開催しました。 参加者の中から2名の方が、10月に開催した健康フェスティバルに測定ボランティアとして活動しました。(月1回・全12回・86名) (いずみ中央) ・シニアボランティア登録研修会企画するもコロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・地域のシニア男性のグループ「ducks」及び共催事業「男性のためのアクティブLife講座」の参加者から新たに認知症キャラバンメイトとしての活動や、高齢者の付き添いボランティア活動(お出かけサポーター)に登録される方がいらっしゃった。 (下和泉) 男性のための料理教室実施 体験者4名参加 2名が担い手として繋がった (上飯田) 上飯田麻雀懇親会2回開催 事務局として新しく7名の方にボランティア登録していただきました (踊場) 自主化した「いずみ中田の蕎麦打ち会」は、着実に地域の団体として発展しており、ケアプラザの「とことんそば打ち」事業についても全面協力をお願いしました。「かながわコミュニティ再生・活性化事例集」にも掲載が決定しました。

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果		
3	1	1	地域活動への参加がすすむまち	地域活動の担い手を養成する	新たな担い手の育成	<p>興味を楽しむことや、仕事で得たスキルを活かした活動が始められるような講座を開催し、地域で仲間と一緒に楽しむ機会を設けます。</p> <p>ボランティアマッチングの仕組み 地区社協と連携した取組 →地区社協やケアプラザと連携した取組</p>	<p>【区社協】 ・いずみオ・ナcollegeの振り返り ・ボランティア更新アンケートで現在活動していない会員の整理 ・地区社協のてびき研修の実施</p>	区社協	<p>これから地域に居る世代を対象としたボランティア団体、ボランティアの紹介や、地区社協と連携して自分の特技や経験を活かせる機会の提供 →ボランティア活動ニーズのスムーズなマッチング ケアプラザエリアを単位としたボランティア講座の開催</p>	<p>【区社協】 ・各ケアプラザの実情に合わせた講座の協力をいたします。 ・更新アンケート結果から地区別にボランティアについて整理を行った結果を活かし、現在活動していない会員へ地域活動へのきっかけ作りを行います。 ・地区社協の手引き研修、地区社協状況書作成から見えてくる地域課題に対し、地区担当や地域ケアプラザがボランティアセンターと協力して住民が地域活動に関わるきっかけ作りを考えます。</p>		
						<p>障害者の理解と活動のサポートをする担い手の育成として、ボランティア講座を実施します。</p> <p>ボランティア講座参加者数</p>	<p>【区社協】 ・セーフティプロジェクト横浜出前講座5回 【ボランティアセンター】 ・視覚障がい理解…3回(述べ27人) ・高齢者の理解…1回(7人) 【移動情報センター】 ・ガイドボランティア講座～知的障がい理解編～…1回(12名) ・ガイドボランティア交流会…1回(8名) ・障害のある人のボランティア養成講座…1回(19名)</p> <p>(下和泉) 1回 防災拠点での障害者理解 30人(上飯田) ジュニアフレンド夏季事業 ボランティア8名(いずみ野) ボランティア講座「ボランティアはじめの一步」⇒中止(3/9参加人数が集まらず)(いずみ中央) ・シニアボランティアポイント登録研修会1回 14名 ・ジュニアフレンド 1回 19名(参加ボランティアへ障害についての講義)(新橋) 団体交流会に区社協の山口さんに参加していただき、障害児者に対するボランティアの現状と移動支援の担い手を募集している旨参加者に話す時間をとった。(踊場) ・視覚障がい理解3回37人 ・障がいボランティア講座1回23人</p>	区社協 区 地域ケアプラザ	ボランティア講座の企画・実施	<p>【区社協】 生活支援体制整備事業、ボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター等で把握した課題の解決を目指したボランティア講座を開催します。</p>	<p>【区社協】 初めてボランティアにかかわる方々のニーズに沿った内容やボランティアを始めるに当たって広くイメージが描けるような講座を引き続き開催します。 また、様々な障害のある方がいることやその方々がボランティアに対して理解をしてほしいこと等当事者の立場に立った講座内容となるよう工夫します。 (上飯田) 障害児余暇支援事業年一回実施予定 (新橋) 団体交流会や広報誌での情報発信を1回行う。 (踊場) 地域ニーズを把握したらできるだけ早い対応を心がけます。 (いずみ中央) 障害児者余暇支援事業にてボランティア募集予定</p>	<p>【区社協】 ・ケアプラザでのボランティア活動に関する講話を実施し、興味や特技を活かしたボランティア活動の紹介を行いボランティア活動の担い手を増やすよう努めました。 ・ボランティアセンター登録会員にかわら版などボランティア情報を提供し、現在活動を行っていない会員へ地域活動へのきっかけ作りを行いました。 ・各地区社協に向けて手引き研修を引き続き行い、新たに4地区で実施しました。地区社協状況書作成のため地区担当から各地区会長・役員へヒアリングを行い、地域課題の把握に努めました。職場内で定期的に、区社協各業務担当と地区担当職員の意見交換の機会を設けました。 ・初めてボランティアに関わる方に対しての講座として、学生向けの講座を実施しました。ボランティアをする上での注意点などを伝え、実際のボランティア活動に活かしてもらいました。 (上飯田) 隔週で近隣の障害支援施設と連携し、自主事業で行っているサロンにて交流をおこなった。自主事業に協力してくれているボランティアの方々には直接のかかわりを通じて障がいを理解をして貰った。</p>
3	1	2	地域活動の担い手と地域活動のコーディネート	担い手と地域活動のコーディネート	担い手と地域活動のコーディネート	<p>ボランティア紹介結果数 スムーズな活動につながった事例</p>	<p>【区社協】 ・95件(2月中旬) ・情報提供(18件)</p>	区社協	ボランティアセンターの運営	<p>ボランティアグループの紹介や、ボランティアネットワークとの連携を通して、ボランティアを始める方がスムーズに活動につながるよう支援します。</p>	<p>【区社協】 ・若い世代がボランティア活動に関わるきっかけ作りとして土曜日に月1回相談日を開設します。それにともない、高校や大学にアプローチをおこないます。 ・ボランティアグループや個人がスムーズに活動につながるよう、内部の連携をよりスムーズにできるよう書式等をわかりやすく改善します。</p>	<p>【区社協】 ・地域住民がボランティア活動に興味を持つよう、ボランティアセンターの役割を分かりやすく伝えるリーフレットを作成し、各講座や相談来所者に配布しました。 ・近隣の学校へボランティア相談についての掲示を依頼し若い世代の担い手の育成に努めました。近隣区の福祉系の高校へは地域ケアプラザ職員とともに訪問しました。</p>
						<p>地域デビュー講座や担い手育成の講座を修了した人が、地域で活動している団体や活動グループに参加できるようコーディネートします。</p> <p>コーディネートの取組</p>	<p>(いずみ中央) シニアポイント登録研修会 1回14名 男性の介護及び認知症予防や地域に出るきっかけ作りを目的とした講座を実施し、新たに加球ボランティアの活動をスタートし、4ヶ月で4件の依頼を受け実施しました。ducksの主催する講座がきっかけとなり施設でのボランティア(シューズ交換)を行う方もいました。 (下和泉) 2回男性向け講座参加さから担い手参加につながる2名 (上飯田) ボランティア感謝会 一回 27名 ふれあい連絡会 1回 54名 (新橋) ・団体交流会 1回・25人 ・ボランティア募集チラシの発行と掲示・配架 (踊場) ・障がいボランティア講座 ・個別での声掛け (いずみ野) ボランティア感謝祭の開催(6/10)11名</p>	地域ケアプラザ	ボランティア活動団体、ボランティアネットワーク等と連携したボランティアコーディネート	<p>ボランティアグループの紹介や、ボランティアネットワークとの連携を通して、ボランティアを始める方がスムーズに活動につながるよう支援します。</p>	<p>(いずみ中央) シニアボランティアポイント登録研修会を実施予定です。研修会を通じ、ボランティア活動について具体的な情報を提供すると共に参加者の方とコミュニケーションをはかりその後の活動につなげられるよう支援します。 (いずみ野) ①ボランティア講座の開催(泉区社協と共催・年1回) (ケアプラザの事業に繋がるようコーディネート) ②ボランティア交流会の開催(年1回) (上飯田) ふれあい連絡会 1回実施 感謝会 1回実施 また、地域にあるボランティアグループのアセスメントを実施し、個々の特徴を把握します。また顔の見える関係を築き、相互のボランティアの方が安心して取り組みをスタートできるようコーディネートします。 (新橋) ・団体交流会 の実施1回 ・ボランティア募集を伝える情報の発信</p>	<p>(新橋) ・介護保険を利用されている方のご家族や介護予防教室参加されている方に直接声掛けをしボランティアに活動してもらうだけでなく、現在介護保険を利用して生活している方々にも在宅で可能なボランティアを依頼。団体・個別コーディネート29名 (いずみ野) ボランティア交流会を実施し、ボランティア同士の情報交流や、ケアプラザでボランティアの受け入れを行っている事業の紹介を行いました。(6/8・17名) (いずみ中央) シニアボランティアポイント登録研修会を実施予定であったが、コロナウイルス感染拡大防止のため講座開催は中止となった。 (下和泉) ボランティア募集の発信と窓口相談に来られた方を中心に具体的な情報発信を広報誌を通して行ってきました。新しい担い手の方を通所に繋げることができました。 (上飯田) ・生活支援コーディネーターと共催で麻雀懇親会(年2回開催)を行い、運営事務局という形でボランティアを要請しました。 今年度2回開催 事務局メンバー7名 ・年2回会食会を実施 ボランティアの方々には日頃からの感謝の気持ちを伝えた (踊場) 個別での対応や、複数人(二俣川看護福祉高等学校や地域の関心がある方たちなど)、適宜ボランティア相談会を行いました。</p>

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果
			地域で行われている活動をまとめ、活動の参考となるよう、情報を整理し、提供します。	情報提供方法の工夫	【区社協】 ・かわら版の発行年2回 ・きらボラ発行年3回 ・区社協広報紙年3回 ・タウンニュース誌年1回 ・移動情報センター通信1回	区社協	地域で行われている活動に情報提供	新たな担い手を増やし、現在活動している人の参考になるように、地区社協やボランティアグループ等地域で行われている活動をまとめた紹介冊子等で、地域情報を提供します。	【区社協】 区社協広報紙「区社協だより泉」を年2回、タウンニュース誌を年1回活用し、区内のボランティア活動や区社協の活動、区社協の事業のPRを行います。 ボランティアセンターや移動情報センターなど各事業でも広報啓発に取組めます。	【区社協】 ・区社協だより泉をタウンニュース紙を活用しながら計3回発行し、ボランティア活動紹介やボランティア募集について周知しました。 ・ボランティアセンターの広報紙「かわら版」を年2回発行し、講座の周知や地域でのボランティア情報の掲載を行いボランティア活動の活性化に努めました。
3	1	3	地域の活動グループへの相談・助言をはじめとする運営面での支援を行います。	相談・助言件数	【区社協】 191件(2月中旬)	区社協	ボランティアセンターの運営	ボランティアセンターで相談・助言をするともに、ボランティアネットワークの運営に協力し、団体の課題を共有し、解決に向けた取組みを行います。	【区社協】 ・事業概要に掲載されている内容は、継続的に推進していくことが重要であるため引き続き取組めます。 ・整理した地区別データをもとに地区担当も登録している個人等へのアプローチを行います。	【区社協】 ・ボランティアセンターへの相談に対しては丁寧な相談受付を徹底しニーズに合ったボランティアコーディネーターに努めました。またボランティアネットワークで拳がった地域課題について共有し他区の取組や課題解決について話し合い解決に向けて検討しました。 ・ボランティア相談に対して地区担当と共有、検討しよりニーズに合ったボランティア調整に努めました。
				内容、回数、参加団体数・人数	【区社協】 ・聞き取り調査…1回	区社協	ボランティアグループ等の運営のための研修会等の開催	既存の団体が抱える課題を共有し、解決に向けた取組が進むよう、研修会等を通じて支援します。	【区社協】 ・地区ボランティアセンター等の課題についてケアプラザと一緒に個別に対応し、必要に応じて講座等を開催し課題に向けた対応をします。	【区社協】 ・地区ボランティアセンターの課題についてボランティアセンターと地区担当や生活支援コーディネーターと共有し、生活支援ボランティアのスキルアップのため、ちよこっとボランティア講座を開催しました。 ・地区ボランティアセンター主催の講座や、立ち上げを検討している地区の研修会の開催支援を行いました。
			主体的なグループ活動の取組 委員の活動支援のための取組	【健康づくり】 ・保健活動推進員研修会(4回) 応急処置講習会(2回)、ロコモ予防研修会(2回) 保健活動推進員地区会長会(11回) 食改セミナー(8回) 【運営企画係】 ・令和元年度の民生委員児童委員、主任児童委員一斉改選に向け、委員の推薦母体である連合自治会町内会長及び単位自治会町内会長や民生委員児童委員、主任児童委員の活動支援要に同委員の紹介リーフレットを作成し配布をしました(2,000部)。 また、講演会「地域の中での民生委員児童委員活動について」(講師:ルーテル学院大学教授・学長 市川一宏氏)と推薦事務説明会を開催し(平成31年2月23日)、地域での円滑な推薦事務の支援を行いました。	区福祉保健課	地域で活動する健康づくり団体への支援 民生委員・児童委員の活動支援	保健活動推進員会の研修・活動への取組を支援します。 食生活等改善推進員の養成を行います。 民生委員・児童委員の活動支援を行います。	【健康づくり】 保健活動推進員研修会(4回) 保健活動推進員地区会長会(月1回) 食改セミナー(8回)	【健康づくり】 保健活動推進員の研修会については、地区会長会の研修部会で企画・立案し、応急処置講習会(2回)及び全体研修会(2回)を実施して、区民の健康づくりに役立てていきたいという意見があり、今後も研修を実施していきます。 食改セミナーの受講生10名が講習を修了し、地域でヘルスマイトとして活動していくことにつながることができました。	
			地域の活動グループの運営のための研修会を企画・実施など、活動を継続するための支援を行います。	研修会参加者数	【区社協】 ・身近な地域の支えあい研修…2回 ・ボランティア・市民活動部会…地区社協の手引きの要点研修	区社協	ボランティアグループ等の運営のための研修会等の開催	既存の団体が抱える課題を共有し、解決に向けた取組が進むよう、研修会等を通じて支援します。	【区社協】 ・団体が抱える課題の中に、メンバーの減少、スキルアップがあがっているため、その課題解決を目的とした研修をケアプラザと計画していきます。	【区社協】 ・研修会「つながろう地域と施設(地区社協と社福法人対象)」・「ひきこもりから共生社会を考える(地区社協関係者対象)」を実施し、地区社協等が日頃感じる課題を共有し、連携や課題解決に取り組むきっかけとなりました。 ・ボランティア団体のメンバー減少などの課題解決のため、ボランティア養成講座を共催で開催し活動支援としてボランティアセンターの役割を伝えました。
			現在活動している人が地域の中心となり、より一層活躍できるよう、様々な地域の課題を協力し合いながら解決する力を身に付けるための講座を開催します。	講座の開催	【第1講】8月25日 開講式・講義・交流 【第2講】9月27日 まち歩き初めの一歩(3ルート) 【第3講】10月25日 個人ワーク・グループワーク 【第4講】11月3日、7日、8日、9日 現地見学会 【第5講】12月1日 チャレンジプランの作成 【第6講】12月22日 卒業式 チャレンジプランの発表(参加者:10名)	泉区まちづくりみらい塾/市民セクターよこほま/区政推進課(地域力推進担当)	泉区まちづくりみらい塾	対象:既に地域活動をしている人やこれから始めたい人など 内容:活動現場の訪問など、実際の活動に触れることで、それぞれの人、地域に合った、より良い地域づくりのための方法を見つけてみます。 自分の住んでいる地域で取り組んでみたいことを「マイプラン」として作成することで、実際の活動につながるきっかけとするなどの、実践的なプログラムを実施します。	【地域力推進担当】 7年間講座を実施して、マンネリ化している点を踏まえ、実施時期、回数等を再検討、多世代が参加可能な企画にしていきたい。 区職員等の地域活動支援の一環として機能するようにしたい。 地域活動への参加を負担感の少ないものにしていく手法を考える機会としていきたい。	【地域力推進担当】 地域活動の現場を見学する機会を増やし、受講生にとって魅力のある内容かつ地域の様々な問題を協力しながら解決していく「自治の力」を身に付ける内容のカリキュラムで実施しました。

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果
3	1	3	地域活動に関心を持っていただくために、区内の地域活動を区内外の市民にホームページや事例集を通じ、効果的に発信します。	地域活動の事例紹介	・個別取材6地区(中川地区、緑園地区、新橋地区、和泉北部地区、いちょう団地地区、下和泉地区)の実施(7月～) ・冊子作成(継承No2)に向けた構成等の検討 ・事例集(継承No2)の発行(3月末)	区政推進課(地域力推進担当)	事例集「泉区の地域力 継承KEI-SHO -心合わせて-」 ホームページ「泉区 地域の事例集」	対象:既に地域活動をしている人、地域活動に関心があり、身近で行われている地域活動を知りたい人など 内容:区内で活動されている取組を紹介し、地域活動への参加のきっかけづくりを行います。多くの人が地域活動に参加することで、生きがいを持ち、年齢を問わず、心身ともに健康な生活を過ごすことのできる社会を目指します。	【地域力推進担当】 ホームページに平成30年度に取材した6事例(中川地区、緑園地区、新橋地区、和泉北部地区、いちょう団地地区、下和泉地区)を掲載する予定。 事例集で紹介した事例について、「泉区まちづくりみらい塾」にて見学会を開催予定。現役で活躍する方々の当初のきっかけや思いを受講者に伝授する。 地域活動への支援手法について、再検討。	【地域力推進担当】 ホームページに平成30年度取材事例6地区(中川地区、緑園地区、新橋地区、和泉北部地区、いちょう団地地区、下和泉地区)と地域行事についても掲載しました。 泉区地域協議会では、「多世代型地域活動」について意見交換を実施。若年層が地域活動について意見を述べる機会を設け、委員が現役世代の地域活動に対する考え方を知ることのできる良い機会となりました。
			各種講座の終了後に自主活動のグループ化につながるよう、活動グループの立ち上げや、運営方法等の支援を行います。	グループ数、参加者数 事務局(地域子育て支援拠点、区社協、区)会議の実施 子育て支援者連絡会(定例)の実施 研修、連絡会の実施	【高齢者支援担当】・継続9カ所 4,154人参加 ・H30年度新規 3カ所 元気づくりステーション「しもずく歌声サポーターズ」「スマイル」「麦の会」 【継続】 (いずみ中央) ・よくばりクラブ 31回・延333人(下和泉) ・しもずく健康づくり講座10回 延べ参加人数179名(上飯田) 健好クラブ 48回 628人 スマイル 24回 172人 麦の会 24回 570人 (いずみ野) ・おはなしほけっと 27回・延243人(新橋) 【継続】元気づくりステーション「健康畑	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	元気づくりステーション	高齢者が歩いて行ける身近な場所で、健康で生きがいのある行動を目指します。	【高齢者支援担当】 ・元気づくりステーション継続12グループの支援。 ・岡津地域ケアプラザ新設に伴い、新規元気づくりステーション立ち上げに向けた支援。 ・その地住民より新規立ち上げについての依頼があった際は、各地区担当にて支援。 (いずみ中央) よくばりクラブ 31回実施予定。 (いずみ野) 「おはなしほけっと」が月に2回、その1回の活動を保育園とデイサービスやグループホームでの絵本の読み聞かせの活動を支援をしていきます。 (上飯田) ・「健好クラブ」「スマイル」「麦の会」の活動を継続支援 (新橋) 元気づくりステーション「ふまねっとサークル」への会場貸出しを行い、活動が円滑にできるよう支援します。元気づくりステーション「健康畑ひまわり」の会場予約の代行を行い、活動が円滑にできるよう支援します。 (下和泉) 地域の高齢者が歩いていける身近な場所で健康活動が行えることを目的に健康づくり講座を開催し、参加者の自主活動に向けた取り組みを行います。	再掲) 【高齢者支援担当】 ・元気づくりステーション継続12カ所の活動支援及び、新規立ち上げ相談2件を行いました。 ・元気づくりステーション代表者宛に事故防止等安全な運営に関する情報提供を行いました。 ・元気づくりステーションの活動を紹介するMAPの作成、パネルの常設展示を行いました。 ・元気づくりステーション連絡会開催に向けた調整(2月実施は中止)を行いました。 (新橋CP) ・元気づくりステーション「ふまねっとサークル」「健康畑ひまわり」の会場手配を行なうだけでなく、活動が円滑に実施できるよう参加者と担い手の相談・助言、活動を休みがちな参加者に対して介護保険へ繋げるなどの後方支援を実施。 (いずみ野CP) 元気づくりステーション「おはなしほけっと」が月に2回 計21回実施。12回を保育園とグループホーム、特別養護老人ホームでの読み聞かせの活動をおこない、その支援を行いました。 (いずみ中央) よくばりクラブ 29回実施。スクエアステップや筋力アップ体操の通常プログラムの他に、ロコモ予防講座や座式太極拳講座等の特別プログラムを取り入れて開催した。 (下和泉) 「下和泉健康麻雀クラブ」「しもずく歌声サポーターズ」の支援。連合町内会館での「しもずく体操の会」の自主化支援をしました。 (上飯田) ・健好クラブ・スマイル・麦の会の活動を支援した。年間延べ参加人数 健好クラブ 44回 496名、麦の会 21回 474名、スマイル 18回 119名 (踊場) 元気づくりステーション:3カ所の活動状況を区役所と情報共有しました。

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和元年度 実施計画	令和元年度 取組結果
2 地域の活動に関心を 持つ人を増やす	1 情報発信 地域情報や活動に関する	地域 の 状 況 や 行 わ れ て い る 活 動 が 的 確 に 伝 わ る よ う 、 対 象 や 内 容 を 明 確 に し な が ら 、 様 々 な 媒 体 を 活 用 し た 情 報 発 信 を 行 い ま す。	地域活動の情報発信への取組	【事業企画担当】 元気の出るまち泉連載 年5回(予定通り)	区福祉保健課	地区別計画の取組紹介(広報よこはま泉区版)	広報よこはま泉区版の地域福祉保健計画の連載をはじめとした、地域の取組を発信します。	【事業企画担当】 広報よこはま泉区版の「元気の出るまち泉」で、年4回(全6、9、1、2月)地域の地域福祉保健計画の取組を連載し、情報を発信し、計画推進の一助とします。	【事業企画担当】 元気の出るまち泉では各地区の取組の一部を紹介し、またイベントの紹介など行うことで地域福祉保健計画の推進を行った。	
			すきっぷ通信、メルマガの発信	平成30年度 すきっぷ通信 12回 メルマガ配信 93回	区子ども家庭支援課 地域子育て支援拠点すきっぷ	地域子育て支援拠点事業	子育て支援に関する情報を拠点「すきっぷ」を通じて区民に情報発信を行います。	【子ども家庭支援課】 養育者支援のため、子育て支援に関わる情報をメルマガやすきっぷ通信、WEBやSNSといった様々な媒体を通じて提供します。	【子ども家庭支援課】 紙・電子媒体により多くの子育て支援情報を提供しました。また、市外からの転入者には区役所窓口で直接、泉区子育て支援マップを配付する他、すきっぷ通信を区役所窓口で配架するとともに地域赤ちゃん教室で配付しました。	
	2 地域を知るきっかけづくり	地域の活動を知り、参加するきっかけを作るため、地域の活動を周知するためのイベントを企画・開催します。	イベントをきっかけとした取組	【事業企画担当】 ・第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント(2/26日～28日・延べ350人) ・活動発表会(3/7・57人)	区福祉保健課	地域福祉保健計画推進イベントの開催	地域の福祉保健活動を知り、活動に参加するきっかけづくりのイベントを開催します。	【事業企画担当】 第3期泉区地域福祉保健計画の周知および地域活動についての紹介を区民ホールで行うとともに、地域活動の参加につながるきっかけづくりになるよう地域での取組を紹介する活動発表会も開催します。	【事業企画担当】 2月に区民ホールを利用して、パネル展示を行うとともに4期計画に向けて移動支援をテーマとした発表を行った。(約150名の来場)	
			イベントをきっかけとした取組	【健康づくり】 ・「みんなの健康アップ！フェスティバル」(6/7:198人) ・区民ふれあいまつり(11/3:アンケート400人) ・第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント(2/26～28:生活習慣病予防パネル展示、ヘルスメイトの災害備蓄食品の活用)	区福祉保健課	健康づくりイベント	地域の健康づくりに関わる活動を知り、活動に参加するきっかけづくりのイベントを開催します。	【健康づくり】 ・「みんなの健康アップ！フェスティバル」(6/6) ・イトーヨーカドー立売店 健康測定会(6/11) ・区民ふれあいまつり(11/3) ・第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント(2月下旬)	【健康づくり】 区主催のイベントを通じて、幅広い年代層に対して、生活習慣病予防の啓発ができた。今後もこの取り組みを進めていきます。	
		団体活動を知るきっかけづくりの取組	【区社協】 ・ボランティアフォーラム来場者210名超 ・出張ボランティアセンターの開設(第3期和泉区地域福祉保健計画推進イベントにて3日間)	区社協	ボランティアフォーラム等のイベントの開催	ボランティアネットワーク等のイベント開催への協力や、社会福祉大会等での発表等、団体の活動を周知し、参加するきっかけづくりを行います。	【区社協】 ・ボランティアフォーラム等のイベント開催の協力します。発表の場では様々な団体が参加するきっかけづくりの場をつくります。	【区社協】 ・あなたの力発揮！応援フェアに参加し、ボランティアセンターの周知を行い地域住民がボランティア活動に参加するきっかけ作りを行いました。 ・第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント(縮小開催)にて、出張ボランティアセンターは中止となりましたが、ボランティアネットワーク等団体のPR展示を行いました。 ・社会福祉大会、ボランティアフォーラムは中止		
		関心の高い事項や、地域でどのような活動が求められているのか等を的確に把握するため、幅広い区民を対象とした調査を実施し、ニーズに合わせた講座等を企画・実施します。	ニーズ把握のための取組	【区社協】 ・区民向け啓発「あなたの活(い)場所みつけませんか」講演会(生活支援体制整備事業)を実施 参加人数:60名	—	区民意識の変化を測る調査の実施	26年度に実施した区民意識調査の推移をみるための調査を継続実施します。	—	—	